

三井住友銀行のコンピュータ バンクサービス接続手続のご案内

AnserDATAPORT接続
(システムご担当者用)



三井住友銀行

2025 年 10 月改定

はじめに

コンピュータバンクサービスとは、お客さまのホスト・コンピュータと当行のコンピュータを接続し、当行の取引情報の照会、総合振込等の取引依頼データの送信等をご利用いただけるサービスです。

※ AnserDATAPORT接続とは…

(株)NTTデータが提供する専用回線を利用するファイル伝送接続の仕組みで全銀TCP/IP手順(広域IP版)に対応した送受信が可能な接続です。

当行との接続・貴社でのデータ処理等のシステムは貴社にてご準備いただく必要があります。この小冊子は、本サービスをご利用されるにあたって主としてシステムの的な内容をご説明させていただくためにご用意いたしました。

伝送テストやサービス開始後の通信時エラーおよびサービス内容についてご質問等ございましたら、下記までご照会ください。
なお、ご利用になられるソフトウェアの操作等に関しては各提供会社にご照会下さい。

三井住友銀行のEBサービスセンター 0120-286-201
営業時間:月曜日～金曜日 9:00～18:00(銀行休業日は除きます)

目次

はじめに	1
I. 通信プロトコル(通信手順)	4
I. 通信プロトコル(通信手順)	5
1. 通信プロトコル、通信回線	5
2. システム概要	6
II. サービス内容	9
II. サービス内容	10
1. サービスメニュー	10
2. 取引情報サービス	11
3. データ伝送サービス	14
4. オプションサービス	16
III. 費用	18
III. 費用 (2025年3月現在)	19
1. 貴社にてご手配いただく必要のあるもの	19
IV. 導入手続	21
IV. 導入手続き	22
1. ご利用開始までの流れ	22
2. Connecureお申込みについて(Phase1)	23
3. 当行でのお申込みについて(Phase2)	24
4. Connecure回線設置・疎通テストについて(Phase3)	25
5. テストについて(Phase4)	25
V. 資料	27
資料ー1 接続手続	28
資料ー2 システム設定に必要なコード一覧	31
資料ー3 電文処理フロー	36
資料ー4 制御電文フォーマット(全銀TCP/IP手順)	39

資料－5 レコードのシーケンス	41
資料－6 接続時の注意事項	43
資料－7 レコードのフォーマット	45
資料－8 レコードで使用する文字・略語	63
資料－9 照合データフォーマット【ファイル一括連携方式】	65
資料－10 口座振替結果データ返却【ファイル一括連携方式】	71
資料－11 取引情報サービステスト返却データの設定内容	74
資料－12 現行公衆回線・ISDN回線接続との各種差分	79

Ⅰ. 通信プロトコル(通信手順)

I . 通信プロトコル(通信手順)

コンピュータバンクサービス(AnserDATAPORT接続)では、下記の通信プロトコルによりファームバンキングサービスをご導入いただけます。

1. 通信プロトコル、通信回線

(1) 通信プロトコルー全銀協標準通信プロトコル

全銀協加盟銀行の総意のもとにまとめられた企業・銀行間オンラインデータ交換手順で、ISDN回線廃止後もご利用可能な全銀TCP/IP手順(広域IP網版)に対応したサービスを提供いたします。AnserDATAPORT接続では、JCA手順、全銀ベーシック手順での接続はご利用できませんのでご注意ください。

※ AnserDATAPORTへの接続は、全銀TCP/IP手順に準じた通信ソフトウェアをご準備下さい。対象となる通信ソフトウェアは、(株)NTTデータのホームページ(外部サイト)をご確認ください。

AnserDATAPORT(通信製品一覧) <https://www.adp.ne.jp/vendor.html>

(2) 通信回線

① Connecure (コネキュア)

Connecureとは、(株)NTTデータが提供するインターネットや他のネットワークから物理的・論理的に遮断された閉域ネットワークサービスです。

Connecureご利用に当たっては、別途(株)NTTデータへのお申込手続やConnecureご利用料金(初期費用、月額料金)の支払が必要となります。

くわしくは(株)NTTデータのホームページ(外部サイト)をご確認下さい。

Connecure(通信回線) <http://nws.jp.nttdata.com/connecure/>

② pufure (LGWAN接続)

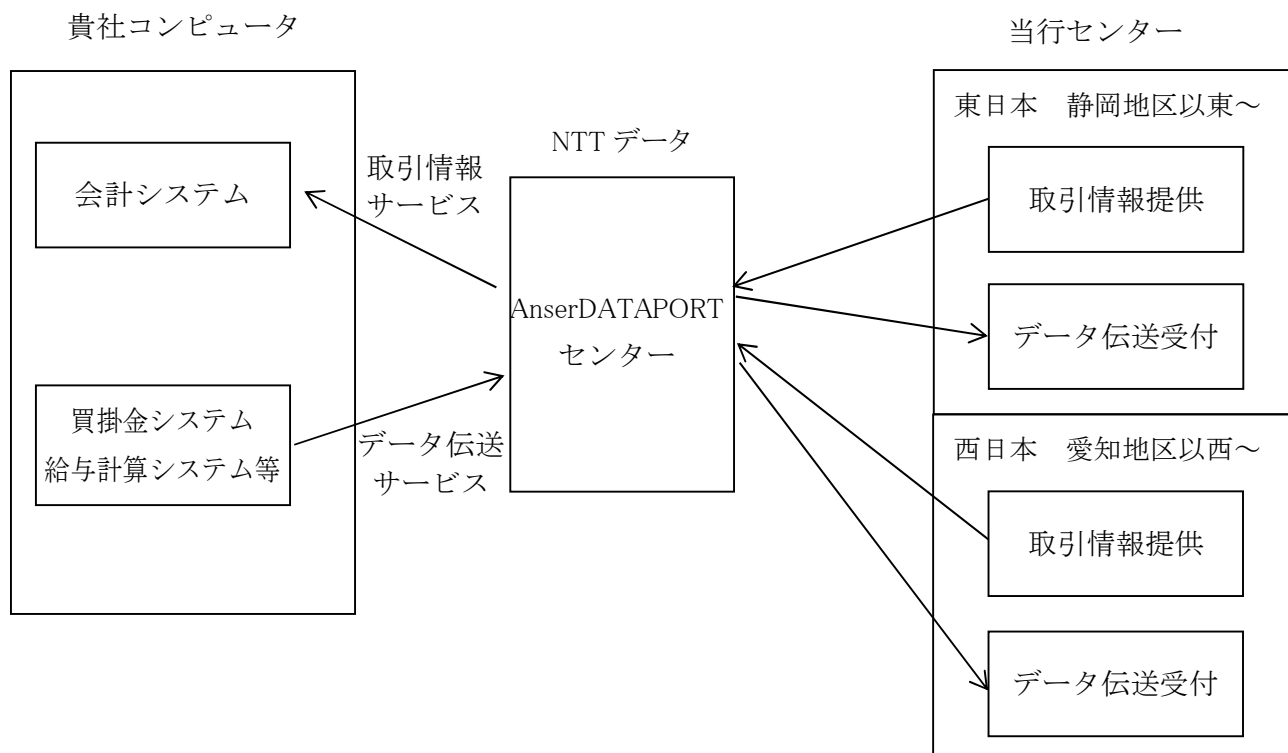
LGWANをお使いの自治体様は、お持ちのLGWAN端末より本サービスをご利用いただけます。ご利用にあたっては(株)NTTデータのホームページ(外部サイト)をご確認ください。

AnserDATAPORT(自治体様向け) <https://www.adp.ne.jp/flow/>

2. システム概要

(1) 当行センター構成

当行コンピュータセンターとの接続は、中間経路としてAnserDATAPORTセンターを経由し、接続をいただきます。当行は東西2センターです。貴社の当行取引店が複数あり、かつ東西に分かれる場合はそれぞれの当行センター確認コードで接続していただく必要があります。東西の情報を一括して照会する場合は、東阪一括のお申込みが必要です。



(2) 通信方式

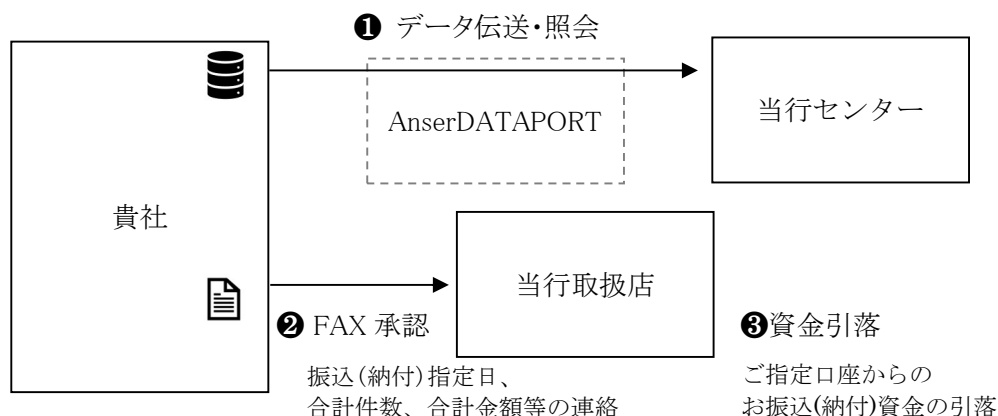
通信方式は下記の2種類があります。

① リアルタイム連携方式

リアルタイム連携方式とは、AnserDATAPORTからリアルタイムでSMBCへの通信を行いオンラインでのデータチェックやデータベース照会を可能とする仕組みです。承認は原則FAX運用を実施いただく必要があります。

また、リアルタイム連携方式では、AnserDATAPORTセンターから当行センター間は**最大通信速度を128Kbpsに制限**の上で通信を行います。

お客さまご契約のConnecure、LGWAN回線に関わらず通信速度に制限が生じます。



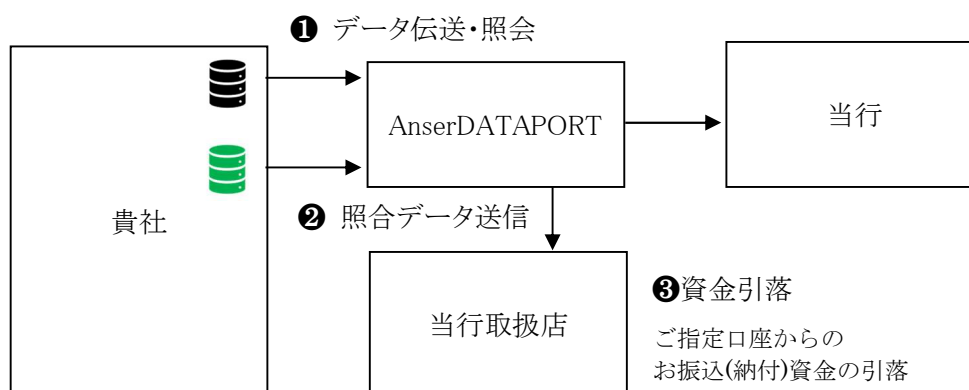
② ファイラー一括連携方式

ファイラー一括連携方式とは、AnserDATAPORTにて伝送データの事前チェック及び蓄積を行い、FAXに代わる照合データを別途作成いただき伝送することにより承認を完結する仕組みです。照合データ形式はAnserDATAPORT接続をご利用いただいている金融機関共通のフォーマットとなります。

なお、LGWAN回線をご利用のお客さまは、LGWAN接続サービス(pufure: パフュール)側で照合データ作成機能がございます。(→P.8 参照)

ファイラー一括連携方式ではFAX承認の手続きが不要となりますが、ご利用可能な業務が限られますのでご留意願います。

また、ファイラー一括連携方式では、AnserDATAPORTセンターでファイルを蓄積・照合する仕組みのため、リアルタイム連携方式と異なり当行間の通信速度制限の対象となりませんので、高速・大量のデータ送信が可能となります。



【参考】LGWAN 接続サービス(pufure)照合インターフェース

LGWAN 回線を利用する場合のデータ伝送及び照合の画面操作例は下記の通りです。

①データ伝送・照会

pufure システムで提供される画面から送信ファイルをアップロードいただけます。

ファイル送信完了 - Windows Internet Explorer

pufure ファイル送信 データ伝送中継サービス

印刷 お問い合わせ

メインメニュー 送信先金融機関選択 ログアウト

団体コード: 9990100 ユーザー名: 送信ユーザー(送信グループ)

以下のファイルを受け付けました。

- 金融機関の営業時間外に送信したファイルは翌営業日の取り扱いとなります。
- ファイルの処理状況は「取引状況照会」で確認してください。
- 続けて別のファイルを送信する場合は「送信金融機関選択」をクリックしてください。
- 間違ったファイルを送信した場合は「取引状況照会」で取り下してください。

●送信ファイルの概要

受付番号	1500000730
ファイル種別	口座振替依頼
依頼ファイル名	ST_RK_002_#01
送信先金融機関	データ銀行
説明	
サブファイル数	1
総合計件数	2
総合計金額	20,000

名	預金種目	口座番号	合計件数	合計金額
イ	普通預金	1234567	2	20,000

承認 - Windows Internet Explorer

pufure 承認 データ伝送中継サービス

印刷 お問い合わせ

メインメニュー 承認対象ファイル一覧 ログアウト

団体コード: 9990100 ユーザー名: 承認ユーザー(承認グループ)

承認する場合は照合識別コード、コメント(任意)を入力し、承認ボタンをクリックしてください。
却下する場合はコメント(任意)を入力し、却下ボタンをクリックしてください。

●ファイル情報

受付番号	1500000730
ファイル種別	口座振替依頼
依頼ファイル名	ST_RK_002_#01
送信先金融機関	データ銀行
説明	
サブファイル数	1
総合計件数	2
総合計金額	20,000

●サブファイル別情報

No	委託者コード	委託者名	指定日	取引金融機関名	取引支店名	預金種目	口座番号	合計件数	合計金額
001	1234567890	イタダキヤメ	1015	データバンク	トリビシヤメ	普通預金	1234567	2	20,000

●取引情報

送信日時	2015/10/05 11:23:37
送信者	送信ユーザー(送信グループ)
伝送日時	2015/10/05 11:23:39
加入者コード	99989999990001
サイクル番号	01
審査者	審査ユーザー(審査グループ)
審査コメント	
照合識別コード	*****
コメント	(30桁以内)

承認 却下 戻る

②照合データ送信

ファイル送信後、承認画面より照合識別コードを入力することで照合ファイルが自動生成されます。

II. サービス内容

II. サービス内容

コンピュータバンクサービス(AnserDATAPORT接続)で提供する内容は下記の通りです。

1. サービスメニュー

通信方式により、ご利用できるサービスメニューが異なりますので、ご注意ください。

○印はご利用可能なサービス

サービス種類			通信方式	
			リアルタイム 連携方式	ファイル一括 連携方式
取引情報サービス	国内関係	振込入金明細	○	—
		入出金明細	○	—
		預金残高	○	—
	外為関係	外為取引情報	○	—
		外貨預金入出金明細照会	○	—
		公表為替相場照会	○	—
データ伝送サービス	国内関係	総合振込	○	○
		給与(賞与)振込	○	○
		口座振替請求	○	○
		個人地方税納付 ^{※1}	○	—
		口座振替処理結果明細	○	○
	外為関係	仕向外国送金 ^{※2}	○	—
		輸入信用状開設依頼	○	—
	共通	データ伝送内容照会 ^{※1}	○	—

※1：当行独自の仕様です。他行とも接続される場合はご注意ください。なお、データ伝送内容照会の対象サービスには制限があります。詳細は P.14 をご確認ください。

※2：2025 年 11 月以降も外国送金の依頼を実施されたい場合は、外国送金の国際標準フォーマット化(ISO20022 準拠対応)に対応した XML 連携方式をお申込みいただく必要があります。

2. 取引情報サービス

お取引口座や外為関係取引に関する情報をご照会いただけるサービスです。

(1) サービス内容

① お取引口座のご照会(国内関係)

○印はご利用可能なサービス

サービスメニュー	当日	翌日一括
振込入金明細照会（当座・普通）	○	○
入出金明細	○	○
預金残高	—	○

② お取引口座のご照会(外為関係)

○印はご利用可能なサービス

サービスメニュー	当日	翌日一括	区分
輸出手形買取明細	○	○	会計性
輸出手形取立支払明細	○	○	会計性
輸出信用状到着案内	○	○	非会計性
輸出手形経過情報	○	○	非会計性
輸入信用状発行結果通知※	○	—	非会計性
輸入手形決済明細	○	—	会計性
仕向送金取組明細	○	○	会計性
被仕向送金到着案内	○	—	非会計性
被仕向送金支払明細	○	○	会計性
為替予約締結履行明細	○	○	会計性
外為利息手数料明細（都度請求）	○	○	会計性
外為利息手数料（一括請求）	—	○	会計性
輸入船積書類到着案内	○	○	非会計性
為替予約残高明細（月次・日次）	—	○	会計性

※輸入信用状発行結果通知は当行独自の仕様です。

(2) ご照会方法

- ① **データベース照会**（1回の操作で、お申込全口座の未照会明細を照会する方式）
- ② **当日** または **翌日一括**（お申込をされるすべての口座に対しお選びください）
なお、サービスによってはお選びいただけない場合があります。

(3) ご利用時間

	当日の場合	翌日一括
データ内容	入出金取引発生から約1～3分経過後に照会可能※ ¹	前日分までの全明細
照会可能時間	月～金曜日 8：45～19：00 （銀行休業日を除きます） 土曜日・12月31日※ ² 9：00～17：00	

※¹…月末日等の多忙日には若干時間がかかることがあります。

※²…土曜日が祝日の場合・12月31日が日曜日の場合はご利用いただけません。

(4) ご注意点

- ① 貴社からのご照会がない場合は、未照会データを当行システム内に保存して次回ご照会時にまとめて回答いたします。システム内に保存する期間は10営業日間です。長期休業日等が確定している場合は休業期間を指定することにより休業期間を除いて10営業日間の当該未照会データを保存できます。休業期間の指定には申込書のご提出が必要です。
- ② 同一データ内容のご照会は原則1回限りといたします。
- ③ 入出金明細照会、振込入金明細照会にて出力したデータ・レコード内に表示される日付の設定基準日は以下の通りです。

入出金明細照会／振込入金明細照会	データ・レコード	
	勘定日	預入・払出日/起算日
平日（例：4/14（金））に入出金、振込入金が発生した場合	4/14（金）	4/14（金）
土日祝日（例：4/15（土））に入出金、振込入金が発生した場合	4/17（月）	4/15（土）

(5) その他外為関係

① 外貨預金入出金明細照会

お取引口座(外貨預金)に関する入出金明細をご照会いただけます。
(当日を含め10営業日間の照会が可能です)

② 公表為替相場照会

主要通貨の当行公表為替相場(TTS・TTB・DDB)をご照会いただけます。
(当日を含め10営業日間の照会が可能です)

<ご注意点>

- 当日相場は10時以降、通貨ごとに随時更新されます。
- 実際のお取引については当行に直接ご照会ください。
- サービス開始時刻は外国為替市場の状況により遅れることがあります。
- 第二公表相場は反映されません。

3. データ伝送サービス

貴社のコンピュータより当行のセンターに振込（請求、納付）データを送信していただき、そのデータに基づいて振込（振替、納付）処理をさせていただくサービスです。

(1) サービス内容

サービスメニュー		サービス時間	伝送(照会)時限
国内関係	総合振込※ ¹	銀行営業日 8:45～19:00	振込指定日の前営業日 15:00
	給与(賞与)振込※ ¹		振込指定日の 3 営業日前 19:00
			当行本指定のみの場合 振込指定日の前営業日 11:00
	口座振替請求※ ¹		振替指定日の 3 営業日前 18:00
	個人地方税納付※ ¹		納付期限(毎月 10 日※ ²)の 4 営業日前 18:00
	口座振替処理結果明細※ ³		振替日の翌営業日後 13:00 から照会可能
外為関係	仕向外国送金	銀行営業日 8:45～18:00	送金実行日の前営業日 18:00
	輸入信用状開設依頼		開設日当日の 11:00
共通	データ伝送内容照会※ ⁴ ※ ⁵	銀行営業日 8:45～19:00	伝送日当日のみ

※¹ 1伝送単位で1万件以上の伝送がある場合は、事前にお取引店にご相談ください。

※² 10日が銀行休業日の場合は翌営業日が納付期限です。

※³ システム内の結果データの保存期間はリアルタイム連携方式の場合10営業日間、ファイル一括連携方式の場合は暦日で62日間となりますのでご注意ください。

※⁴ リアルタイム連携方式のみ利用可能です。

データ伝送後、当行センターで受付したデータの照会ができます。データ件数が5,000件未満の場合は、伝送したデータ全て照会可能。5,000件以上の場合は、合計件数、金額のレコードだけが照会可能です。対象サービスは総合振込、給与(賞与)振込、口座振替請求、個人地方税納付、仕向外国送金となります。ファイルレイアウトについては下記の通りです。

・5,000件未満 伝送したデータと同一(ヘッダー、データ、トレーラー、エンド)

・5,000件以上 ヘッダー、トレーラー、エンドレコード

※⁵ ファイル一括連携方式の場合は、受付状況照会データを取得し依頼データの照合状況をご確認ください。詳細は、P67「資料-9 照合データフォーマット【ファイル一括連携方式】(2)受付状況照会データフォーマット」をご参照ください。

(2) ご注意点

① データの送信はサービス種類ごとに1振込指定日(振替日)に対して原則1回となります。貴社の経理処理のご都合で、同一指定日のデータを複数回に分けて伝送される場合にはサイクルコードを上げて伝送してください。ただし、個人地方税納付については複数回伝送する場合は、会社コードを複数ご利用いただくことをお願いする場合がございます。

② リアルタイム連携方式の場合、送信日に送信データの振込(納付)指定日、合計件数、合計金額等を当行所定のFAX用紙にてお取引店へ必ずご連絡いただきます。

③ 送信後データの誤りに気づかれ、データの取消、訂正をされる場合は、所定の組戻依頼書をいただいた上で、お手続きさせていただきます。なお、前述②のFAX用紙受付後は、原則取消できません。

④ ファイル一括連携方式の場合、取引データ送信後はAnserDATAPORTセンターにて保留されますので、受付時限までに所定の照合データをお送りいただきます。照合データ受信確認後に当行センターで受付が完了します。

なお、ファイル一括方式で取消を行う場合、未照合のデータだけが対象となります。データの取消実施区分を「1」取消実施にして送信してください。(「資料-9 照合データフォーマット【ファイル一括連携方式】」をご参照ください。) なお、照合済のデータは取消を行うことができません。

⑤ ファイル一括連携方式の場合、AnserDATAPORTセンターでの受付状況(未照合、照合済、取消済、照合時限切れ)については受付状況照会の機能を用いて確認が可能です。

⑥ 総合振込手数料、給与(賞与)振込手数料、口座振替手数料、個人地方税納付手数料は、別途所定の料金をいただきます。(料金は、原則「後日一括」引落になります。総合振込、給与(賞与)振込手数料は「都度」引落も可能です)

⑦ 振込処理の明細は、当行のインターネットサービスを利用しWeb上でご確認することも可能です。詳細はWeb帳票サービスをご確認ください。

(URL: [Web帳票 操作マニュアル | ValueDoor/Webヘルプ \(smbc.co.jp\)](https://www.smbc.co.jp/webportal/))

⑧ 外国送金、輸入信用状開設依頼については、外為法上の確認ができない場合など、ご依頼の内容によってはお手続きできないことがあります。あらかじめご了承ください。

⑨ 輸入信用状開設のお取引については当行の審査がございます。審査の結果、ご利用をお断りする場合がございますので、あらかじめご了承ください。

4. オプションサービス

各種オプションサービスのご案内です。

別途お申込が必要ですので、お取引店にご相談ください。

(1) EDI情報サービス(全銀協仕様)

振込入金明細・入出金明細の専用フィールドに、振込依頼人がセットした入金消込用の20桁のマッチングキーを追加表示するサービスです。EDI 情報のご利用には、受信されるお客さま側で EDI 情報サービスのご契約が必要です。

① EDI情報で利用可能な文字等

数字	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
英大文字	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
カナ大文字	アイウエオカキクケコサシスセソ タチツテトナニヌネノハヒフヘホ マミムメモヤユヨラリルレロワヲン
濁点・半濁点	ゝ 。
記号	¥ 「 」 () - / . (注)

(注) カンマ(,)については、ご利用いただけません。

② 仕様

振込依頼人がセットする 識別表示欄 (総合振込フォーマットの項番 15)	振込依頼人がセットする 「補足情報」の位置・内容	受取人側における 表示
Y	「顧客コード1」と「顧客 コード2」(20 桁)に設定	振込入金明細・入 出金明細の専用 フィールドに表示

(2) 振込人はっきりサービス(当行独自仕様)

振込入金明細・入出金明細の「振込依頼人名」の前または後ろに補足情報を付加することにより、受取人の入金確認を容易にするサービスです。

① 振込人はっきりサービスで利用可能な文字等

EDI 情報サービスと同様です。

② 仕様

振込依頼人がセットする識別表示欄 (総合振込フォーマットの 項番 15)	振込依頼人がセットする 「補足情報」の位置・内容	受取人側における 表示
A	「顧客コード 2」(10 桁) に設定	「振込依頼人名」 の後
B	「顧客コード 2」(10 桁) に設定	「振込依頼人名」 の前
C	「顧客コード 1」と「顧客コード 2」(20 桁)に設定	「振込依頼人名」 の後
D	「顧客コード 1」と「顧客コード 2」(20 桁)に設定	「振込依頼人名」 の前

③ ご注意点

- 振込依頼人名と補足情報の間に1文字スペースが入ります。
- 「補足情報」を付加した「振込依頼人名」の文字数が40文字を超える場合は、「振込依頼人名」を優先して設定するため、「補足情報」の内容が一部欠落します。

III. 費用



Ⅲ. 費用（2025 年 10 月現在）

コンピュータバンクサービス（AnserDATAPORT接続）の費用は下記の通りです。

1. 貴社にてご手配いただく必要のあるもの

(1) 通信回線 — 「Ⅰ－1.通信プロトコル、通信回線」に記載の回線

Conneccure 回線の申込をあらかじめ NTT データまで実施ください。自治体のお客さまはpufure 経由の接続となります。こちらも NTT データまであらかじめお申込みください。

(2) 通信用ソフト — 「Ⅰ－1.通信プロトコル、通信回線」に記載の通信プロトコル対応ソフトウェア

AnserDATAPORT と接続確認済の認定ソフトウェアを NTT データのホームページ（外部サイト）に掲載しておりますので、そちらからご選択ください。

通信製品一覧 <https://www.adp.ne.jp/vendor.html>

2. 当行にお支払いいただく費用（消費税込）

(1) 初期費用

コンピュータバンクサービス契約料 110,000 円

(2) 月額費用

月額費用（ご利用のサービスにより、下記の月額費用がかかります）

サービス種類		基本料金	使用料金(月間件数毎)		
国内関係	取引情報サービス (→P.11)	22,000 円	使用 件 数	1 - 999 件	5,500 円
				1,000 - 2,999 件	11,000 円
				3,000 - 4,999 件	16,500 円
				5,000 件以上	22,000 円
	データ伝送サービス (→P.14)	11,000 円	無料 注1		

サービス種類		基本料金	使用料金(月間件数毎)
外 為 関 係	取引情報サービス (→P.11)	22,000 円	国内関係と同様に使用件数(※)に 応じた料金をいただきます ^{注2}
	データ伝送サービス (→P.14)		無料 ^{注1}
オ プ シ ョ ン	EDI情報サービス	2,200 円	無料
	振込人はっきりサービス	無料	無料

(※)使用件数は、当行より貴社に送信した取引情報データのデータ・レコード件数の合算です。

(口座振替処理結果明細照会、データ伝送内容照会は含みません)

注1:振込手数料、送金手数料等は、所定の料金を別途お支払いいただきます。

金額等につきましてはお取引店にご照会ください。

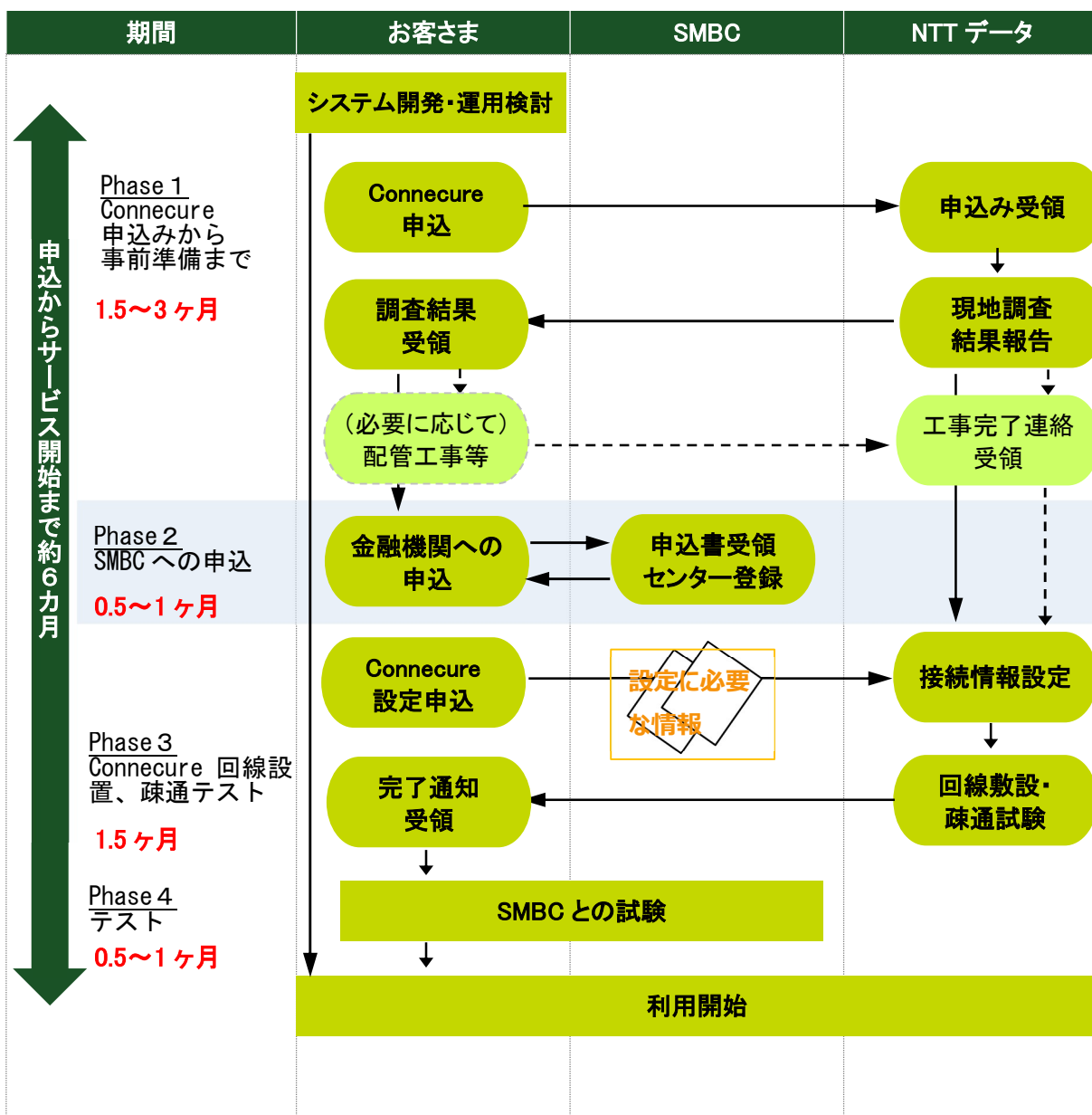
注2:国内、外為関係の両方をご利用の場合は、使用件数は合算でいただきます。

IV. 導入手続

IV. 導入手続き

コンピュータバンクサービス (AnserDATAPORT接続) のご利用開始までの流れは下記の通りです。

1. ご利用開始までの流れ



2. Connecureお申込みについて(Phase1)

コンピュータバンクサービス(AnserDATAPORT 接続)のご利用にあたり、Connecure を事前に申込みいただく必要がございます。

くわしいお手続きは、下記 NTT データのホームページ(外部サイト)よりご確認ください。

(1) 回線サービスメニュー

Connecure は、以下の複数回線メニューよりご選択が可能です。

各メニューの詳細、料金等は NTT データまでご確認をお願いします。

回線メニュー(外部サイト): <http://nws.jp.nttdata.com/connecure/menu.html>

メニュー構成	選択プラン
保守グレード 保守受付、故障対応時間	ベーシックプラン(故障対応 24H/265 日) ライトプラン(故障対応平日 9:00-17:00)
回線品質 帯域確保型、ベストエフォート	イーサプラン(1M) ベストエフォートプラン ミニマムプラン(帯域制限 200K)
冗長化構成 バックアップ回線有無	デュアルプラン シングルプラン

(2) お申込み手続

Connecure のお申込み、手続に関しましては、NTT データのホームページにて確認下さい。

導入手続(外部サイト): <http://nws.jp.nttdata.com/connecure/information.html>

(3) Connecureお問合せ先

株式会社NTTデータ ビジネスソリューション事業本部
ネットワークソリューション事業部 営業担当 (Connecure 窓口)
電話番号 : 050-5546-9751
メールアドレス : connecure_sales@kits.nttdata.co.jp
ホームページ : <http://nws.jp.nttdata.com/connecure/> (外部サイト)

3. 当行でのお申込みについて(Phase2)

コンピュータバンクサービス(AnserDATAPORT 接続)のご利用については、下記申込書をお取引店※までご提出ください。必要な申込書については、お取引店にご確認ください。
当行で登録手続き完了後、サービスご利用にあたり必要な情報を通知いたします。

(1) お申込み(共通)

(新規お申込みのお客さま)

- ・「<リアルタイム連携方式> AnserDATAPORT®接続(ファームバンキングサービス／データ伝送サービス) 申込書兼手数料引落依頼書」
- ・「<ファイル一括連携方式> AnserDATAPORT®接続(ファームバンキングサービス／データ伝送サービス) 申込書兼手数料引落依頼書」

(2) お申込み(個別サービス単位)

- ① 総合振込、給与(賞与)振込、個人地方税納付
上記(1)お申込み(共通)に記載の申込書
- ② 口座振替請求
 - ・「三井住友銀行コンピュータバンク・パソコンサービスによる預金口座振替に関する契約書」
 - ・「預金口座振替に関する各種手続依頼書」
- ③ 外為関係
「<AnserDATAPORT 接続> 三井住友銀行のファームバンキングサービス(外為関係) 申込書」
- ④ その他
お申込サービスにより別途申込書が必要な場合があります。

※ 当行に複数のお取引店がある場合は、代表のお取引店へ、すべてのお取引店の申込書を一括してご提出ください。各申込書の企業コード(お客さまセンター確認コード)は同一のコードをご記入ください。

4. Connecure回線設置・疎通テストについて(Phase3)

(1) 回線設置

Connecure 申込時にご指定の回線敷設情報や入館申請情報に基づき、NTT データの指定する設置業者とお客さまで調整いただきます。

お客さまと NTT データの作業分担や設置工事内容に関しては、NTT データホームページよりサービス仕様書をダウンロードのうえご確認ください。

- ・サービス仕様書(外部サイト)

<http://nws.jp.nttdata.com/connecure/download.html>

(2) ネットワーク疎通テスト

お客さまとのネットワーク機器の相性や、ネットワークアドレス変換(NAT)の設定を行った場合には IP アドレスが正しく設定されることなど、通信経路の正当性確認を目的とし、テストを実施します。Connecure ネットワークメニューで冗長化のメニューを選択いただいた場合、バックアップ回線への切替などもこのタイミングでテストいたします。

5. テストについて(Phase4)

(1) テスト準備

① 貴社システム設定

当行とのテストにあたり、貴社側で Connecure 回線接続及び通信パッケージの選定を完了させてください。

これらの設定が完了しましたら当行とのデータ伝送のために必要な伝送制御情報をお客さまの環境に設定いただきます。設定内容は「資料-2 システム設定に必要なコード一覧」をご参照ください。

② 照合ファイルの準備

当行との通信方式に「ファイル一括連携方式」をご利用のお客さまは、テストの際にお取引依頼データの他に照合ファイルを送信いただく仕組みが必要です。

照合ファイルのレコードフォーマットは「資料-9 照合データフォーマット【ファイル一括連携方式】」をご参照ください。

③ テスト実施要領、日程確認

相手方(当行)センター確認コードをテスト用に変更の上、全ての振込依頼人コード(会社コード)に対し、テスト送信を実施してください。

(2) データ伝送サービス

データ伝送サービスをお申込みのお客さまにつきましては、契約登録完了後、本番データ伝送前までの間に必ずデータ伝送テストを実施いただきます。データ伝送テストは本番で利用する企業コードを利用し当行の定めた業務レコードフォーマットに沿ったデータをお送りいただくことで、取引データの正常性を確認いたします。データ伝送テストの結果については、実施日から概ね一週間以内にお取引店よりテスト結果並びに本番サービス開始日についてご連絡いたします。

テスト実施要領につきましては、資料-1(2)「テスト実施要領〈AnserDATAPORT 接続の場合〉」をご確認ください。

(3) 取引情報サービス

取引情報サービスにおけるテスト実施は任意としております。

V. 資料



資料－１ 接続手続

(1) サービス契約後の接続手順

当行から契約登録完了のお知らせ後、下記手順を実施してください。

- ① システム設定等の基本登録を行ってください。(⇒P.31～P.33)

【登録内容】 a. センター確認コード b. 接続先 IP アドレス c. ファイル名

- ② ご利用サービスごとに手順をご確認ください。

- a. データ伝送サービス(テスト必須⇒下記「データ伝送テスト実施要領」参照)
契約登録完了後、本番データ伝送前にテスト伝送が必要です。
- b. 取引情報サービス(テスト任意⇒P.30「取引情報サービステスト実施要領」参照)
・「当日」の場合、サービス開始日より当日の明細を照会できます
・「翌日一括」の場合、サービス開始日の翌銀行営業日より明細を照会できます。
※外国為替取引情報はテスト不可です。

(2) テスト実施要領〈AnserDATAPORT 接続の場合〉

- ① データ伝送テスト実施要領(リアルタイム連携方式)

データ伝送テスト(リアルタイム連携方式)	
テスト要否・ 対象サービス	必須:総合振込・給与振込・賞与振込・個人地方税納付・口座振替請求(口座振替請求結果照会を含む) ※本番データ伝送前に、必ず実施してください。
	任意:外為関係
テスト可能日	銀行営業日の 9:00～19:00(外為関係は 9:00～18:00)
テスト要領	(1)テスト用振込依頼データの作成 ①会社コード(振込依頼人コード)(※)、資金引落口座等を、テスト用振込依頼データのヘッダー部にセット。 ②振込指定日は、テスト送信日の前営業日から 20 営業日前までの過去日付かつ銀行営業日をセット。(テストでは送信当日や先日付の指定はできません) ③データ件数 2 件以上(本番で使用するデータをお持ちの場合はそのデータでテストを行ってください。ヘッダー・レコードが複数のファイルを送信される方はそのデータでテストを行ってください) ④口座振替請求のヘッダー・レコードには申込書にご記入の口座振替請求「サービス利用口座」をセットしてください。

※手続き登録完了後に返却する申込書の控えをご確認ください。

ご不明の場合はお取引店にご連絡ください。確認後は P.34 のコード控え欄をご活用ください。

データ伝送テスト(リアルタイム連携方式)	
テスト要領 (続き)	(2)テスト送信 ①相手方(当行)センター確認コードをテスト用に変更してください。 (⇒P.31) ②すべての振込依頼人コード(会社コード)に対しテスト送信を実施してください。 ③当行センター側受信有無を確認される場合は、三井住友銀行のEBサービスセンター(0120-286-201)へご照会ください。受付時間・振込指定日・件数・金額を回答いたします。 ④本番の相手方(当行)センター確認コードは、テスト用の当行センター確認コードとは異なりますので、必ず本番の相手方(当行)センター確認コードへの設定変更をお願いいたします。 (3)テスト結果の確認 伝送テストの約1週間後までに受信明細を書面にてお取引店よりご連絡いたしますので、送信明細と相違のないことをご確認ください。 (4)口座振替請求のテスト※サービス開始日以降 依頼データの送信テストは(1)～(3)に準じます。結果照会の受信テストは、依頼データのテスト送信の翌営業日から10営業日間可能です。ただし、同一の送信日・振替日の結果受信は一回のみとなります。照会可能日は銀行営業日の9:00～19:00です。

② データ伝送テスト実施要領(ファイル一括連携方式)

データ伝送テスト(ファイル一括連携方式)	
テスト要否・ 対象サービス	必須:総合振込・給与振込・賞与振込・口座振替請求(口座振替請求結果照会を含む)・照合データ 本番データ伝送前に、必ず実施してください。 任意:受付状況照会 (実際の受付状況に関らず当行固定の照会結果を返却します。)
テスト可能日	銀行営業日の9:00～19:00
テスト要領	(1)テスト用振込依頼データの作成 ①会社コード(振込依頼人コード)(※)、資金引落口座等を、テスト用振込依頼データのヘッダー部にセット。 ②振込指定日は、未来日付の銀行営業日をセット。 ③データ件数は2件以上(上限10件程度、ヘッダー・レコードが複数のファイルを送信される方はそのデータ)でテストを行ってください。また、複数のファイル送信を行う場合にはサイクル番号を正しく設定下さい。 ④口座振替請求のヘッダー・レコードには申込書にご記入の口座振替請求「サービス利用口座」をセットしてください。

※手続き登録完了後に返却する申込書等の控えをご確認ください。

ご不明の場合はお取引店にご連絡ください。確認後はP.34のコード控え欄をご活用ください。

データ伝送テスト(ファイル一括連携方式)	
テスト要領 (続き)	⑤依頼データの合計件数・金額及びサイクル番号を合わせた形で<u>照合ファイル</u>をご用意ください。 (2)テスト送信 ①相手方(当行)センター確認コードをテスト用に変更してください。 (⇒P.31) ②すべての会社コード(振込依頼人コード、委託者コード)に対しテスト送信を実施してください。 ③<u>依頼データ送信後、照合用ファイルを送信下さい。</u> ④本番の当行センター確認コードは、テスト用の当行センター確認コードとは異なりますので、必ず本番の当行センター確認コードへの登録変更をお願いいたします。 (3)テスト結果の確認 伝送テストの約1週間後までに受信明細を書面にてお取引店よりご連絡いたしますので、送信明細と相違のないことをご確認ください。 (4)口座振替請求のテスト ※サービス開始日以降 依頼データの送信テストは(1)～(3)に準じます。結果照会の受信テストは、依頼データのテスト送信日から可能です。結果データは予め当行で用意した雛形データを用意しますので、依頼データ内容とは異なります。(→P.72 参照) また、雛形データは、随時取得可能となります。照会可能日は銀行営業日の9:00～19:00です。結果明細の書面でのお渡しは行っておりません。

③ 取引情報サービステスト実施要領(任意)

取引情報サービステスト	
テスト要否	任意
対象サービス	・預金残高照会 ・振込入金明細照会 ・入出金取引明細照会 ※外国為替取引情報は対象外
テスト可能日	銀行営業日の9:00～19:00
テスト要領	(1)テスト照会 ①相手方(当行)センター確認コードをテスト用に変更してください。 ②相手方(当行)センター側受信有無の確認は、三井住友銀行のEBサービスセンター(0120-286-201)へご照会ください。 (2)テスト結果の確認 ①お客さまにて取引情報が取得できることをご確認ください。 実際の取引情報に関わらず、固定の照会結果のご返却となります。 ②本番の相手方(当行)センター確認コードは、テスト用の相手方(当行)センター確認コードとは異なりますので、必ず本番の相手方(当行)センター確認コードへの登録変更をお願いいたします。

資料－２ システム設定に必要なコード一覧

(1) リアルタイム連携方式

① センター確認コード・回線番号・暗証番号

システム設定情報(伝送制御情報)			東日本地区 静岡地区以東の 支店のお客さま	西日本地区 愛知地区以西の支店(福井・ 金沢・富山を含む)のお客さま
センター確認コード	当方(お客さま)側		申込書にご記入の企業コード(14桁)	
	相手方 (当行)側	本番用	00000000090001	00000000090011
		テスト用	00090000000000	00090000000001
暗証番号	パスワード		申込書にご記入の通信暗証	
	ファイルアクセスキー		申込書にご記入の送信暗証 (取引情報サービスは、「パスワード」と同じ暗証番号)	
IP アドレス※	IP アドレス	本番用	10. 244. 254. 82	
		テスト用		
	ユーザーID		設定不要	
	パスワード			
ポート番号			5020	

※ 当行は、TCP/IP手順における認証は行っておりませんが、貴社端末側で設定が必要な場合はCHAP認証で設定してください。

② ファイル名

【国内関連】 ※は当行独自のコードです

サービス種類	ファイル名(12 桁)	サービス種類	ファイル名(12 桁)
振込入金明細	50200001nn00	総合振込(送信内容照会)※	50001121nn00
入出金明細	50200003nn00	給与振込(送信内容照会)※	50001111nn00
預金残高明細	50200004nn00	賞与振込(送信内容照会)※	50001112nn00
総合振込	50200121nn00	口座振替請求(送信内容照会)※	50001191nn00
給与振込	50200111nn00	個人地方税納付(送信内容照会)	50001131nn00
賞与振込	50200112nn00	※	
口座振替請求・結果照会	50200191nn00		
個人地方税納付※	50200131nn00		

【外為関連】 ※は当行独自のコードです

サービス種類	ファイル名(12 桁)	サービス種類	ファイル名(12 桁)
外国為替	(会計性) 50200425nn00	仕向外国送金	50200435nn00
取引情報	(非会計性) 50200426nn00	輸入信用状開設依頼	50200428nn00
外貨預金入出金明細照会	50200009nn00	仕向外国送金(送信内容照会)※	50001435nn00
公表為替相場照会	50200427nn00		

(2) ファイル一括連携方式

① センター確認コード・回線番号・暗証番号

IP アドレスを除き、リアルタイム連携方式と同様です。

システム設定情報(伝送制御情報)			東日本地区 静岡地区以東の 支店のお客さま	西日本地区 愛知地区以西の支 店(福井・金沢・富山 を含む)のお客さま
IP アドレス※	IP アドレス	本番用	10. 244. 252. 17	
		テスト用		
	ユーザーID		設定不要	
	パスワード			

② ファイル名

ファイル一括連携方式で取扱い可能なデータファイルは以下の通りです。

照合データ、受付状況照会データのご利用が可能となります。

サービス種類	ファイル名(12 桁)		
	取引データ	照合データ	受付状況照会データ
総合振込	50200121nn00	50209121nn00	50208121nn00
給与振込	50200111nn00	50209111nn00	50208111nn00
賞与振込	50200112nn00	50209112nn00	50208112nn00
口座振替請求・結果照会	50200191nn00	50209191nn00	50208191nn00

(3) 留意事項（各通信方式共通）

① サイクルコード

ファイル名「5XXXXXXnn00」に記載の「nn」はサイクルコードを表します。

サイクルコードは通常「01」からスタートし、同日は毎回カウントアップ。

a. 取引情報サービス

サイクルコードチェックはしていません。

ただし、再送要求の場合には、該当サイクルコードで送信したファイルを再送信します。

b. データ伝送サービス

サイクルコードチェックをしています。(01～99)

数値は前回より大きい数値であれば連番で使用されていなくても受付します。

*取引情報サービスでサイクルコードチェックをご希望の場合、お取引店までご相談下さい。ただし、再送要求ができない等の制約があります。

② データ圧縮

データ圧縮による送受信はリアルタイム連携方式の場合、取引情報サービス・データ伝送サービスともに可能です。ファイル一括連携方式では、原則データ圧縮を推奨しております。圧縮方式は全銀協標準通信プロトコルに準拠します。

③ テスト時の設定及び留意事項

a. データ伝送サービス

相手(当行)側センター確認コードをテスト用に設定いただく必要があります。
テストデータの振込指定日は、リアルタイム連携方式の場合はテスト送信日の前営業日から20営業日前までの過去日付かつ銀行営業日、ファイル一括連携方式の場合は未来日付かつ銀行営業日を設定し送信下さい。

b. 取引情報サービス

ファイル一括連携方式でのテスト機能はご提供しておりません。

(4) 振込依頼人コード（各通信方式共通）設定

データ伝送サービスは、ヘッダー・レコード内に資金決済口座、振込依頼人コード等をセットしていただきます。なお、振込依頼人コード(会社コード)は当行で採番の上、ご連絡いたします。

データ伝送テストは、各振込依頼人コードごとに行ってください。

＜振込依頼人コード(会社コード)管理表＞

サービス種類	資金決済口座				振込依頼人コード (当行で定める会社 コード)(10桁)
	三井住友銀行	支店番号	科目	口座番号	
総合振込	0009				
	0009				
	0009				
給与(賞与) 振込	0009				
	0009				
	0009				
	0009				
個人地方税納付	0009				
	0009				
仕向外国送金	0009				
	0009				
輸入信用状開設 依頼	0009				
	0009				

サービス種類	サービス利用口座				委託者コード (10桁)
	三井住友銀行	支店番号	科目	口座番号	
口座振替請求※	0009				
	0009				
	0009				
	0009				

※ヘッダー・レコードには、入金口座ではなく、必ずサービスご利用口座をセットしてください。

※ヘッダー・レコードのダミー(17桁)には、必ずスペースをセットしてください。(⇒P.59 参照)

(5) 加入者コード（ファイル一括連携方式）設定

加入者コードは、「資料－9(2)受付状況照会データフォーマット」のヘッダー・レコード内にセットしていただきます。加入者コードについては、お取引店にご確認ください。

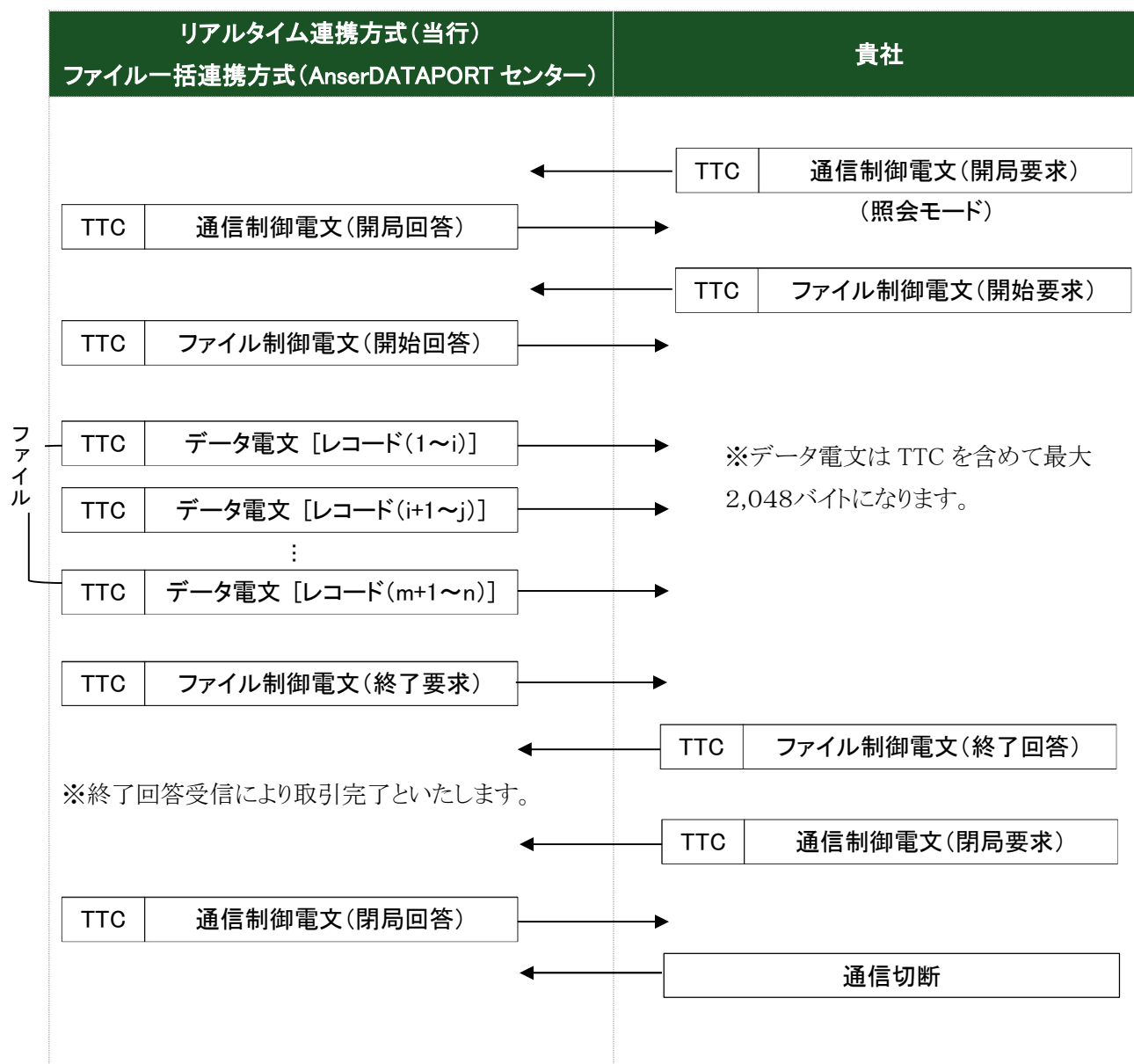
<加入者コード管理表>

当方センター確認コード (申込書にご記入の企業コード)(14桁)	加入者コード(14桁)	
	テスト用	
	本番用	
	テスト用	
	本番用	
	テスト用	
	本番用	
	テスト用	
	本番用	

資料－3 電文処理フロー

(1) リアルタイム連携方式・ファイル一括連携方式

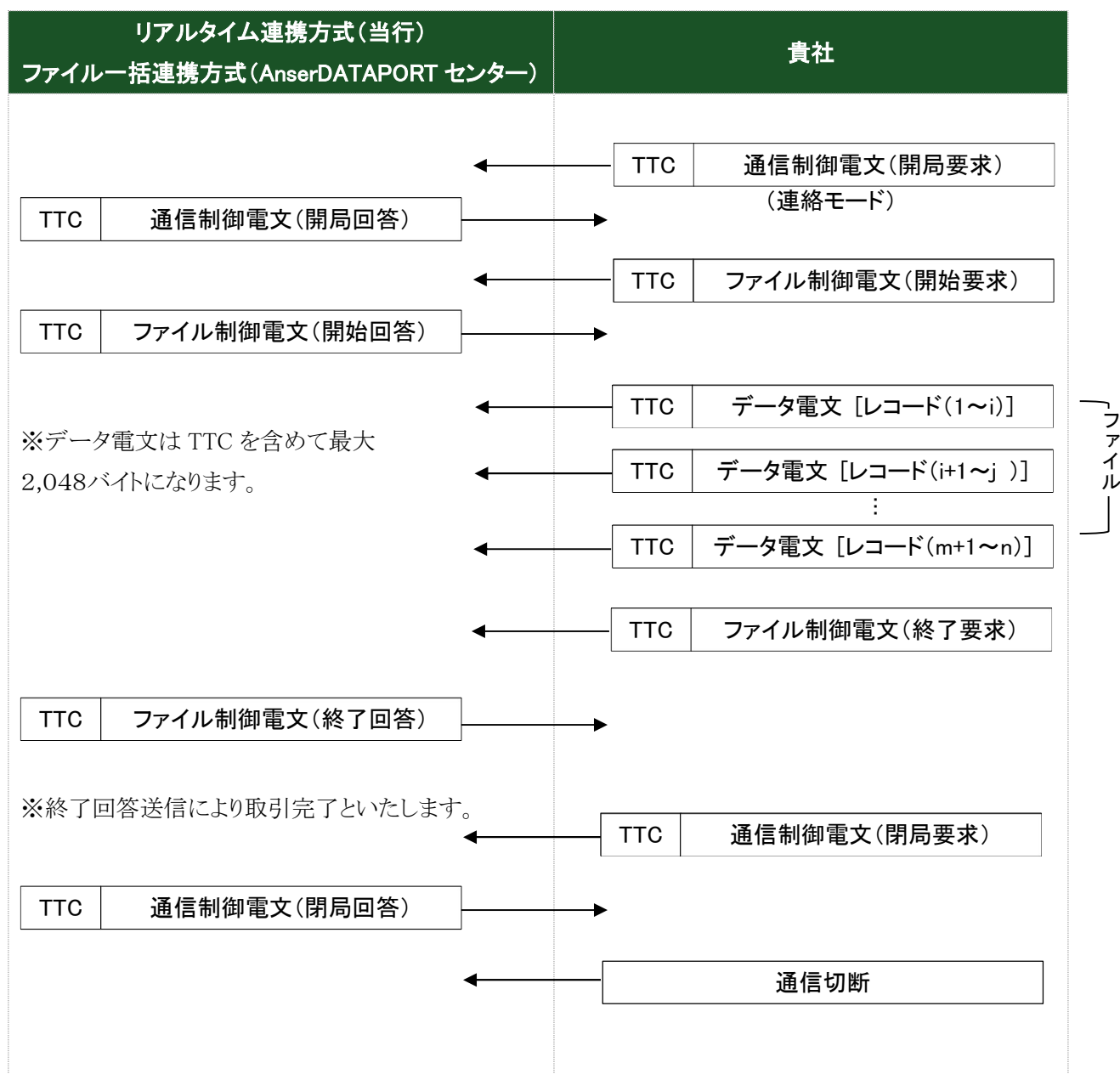
① 取引照会サービス通常処理



※TTC(伝送テキストコントロール部)・・・詳細は P.38 をご確認ください。

注: 終了回答後、連続してファイル照会(開始要求電文を送信)することは当行のシステムでは対応しておりません。

② データ伝送サービス通常処理

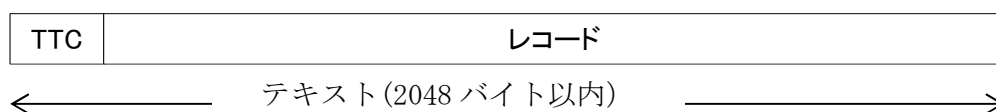


※TTC(伝送テキストコントロール部)・・・詳細は P.38 をご確認ください。

(2) 全銀手順の電文の組立

① メッセージの組立

- ・1レコードを1テキストとしたメッセージ



- ・複数レコードを1テキストとしたメッセージ



- ・複数レコードを複数テキストとしたメッセージ

(先頭テキスト)



(中間テキスト)

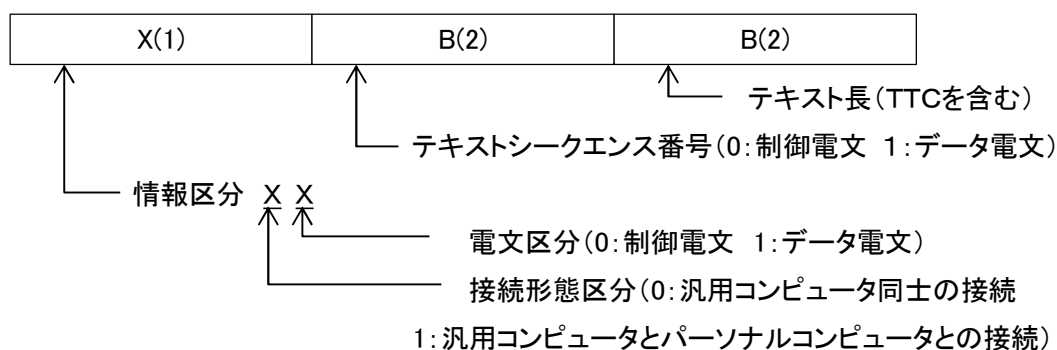


(最終テキスト)



② TTC (伝送テキストコントロール部) の説明

伝送テキストコントロール部は5バイトにより構成されます。



※接続形態区分とコード区分 (EBCDIC/JIS) は合わせてください。

資料－4 制御電文フォーマット(全銀 TCP/IP 手順)

(1) 通信制御電文

No.	項目名	桁数	内容
1	電文区分	X(1)	・通信制御電文区分を表す。 ・00・・・開局要求 ・02・・・閉局要求 ・01・・・開局回答 ・03・・・閉局回答
2	処理結果	X(1)	・要求電文の内容チェックの結果を示す。 - 複数のエラーが発生した場合は、最初にチェックエラーとなったコードをセット。 ・00 ... 正常 ・10 ... 電文区分エラー ・11 ... 相手センター確認コードエラー ・12 ... 当方センター確認コードエラー ・13 ... サービス時間帯エラー ・14 ... パスワードエラー ・15 ... アプリケーションIDエラー ・16 ... モードエラー ・17 ... モード変換不可 ・99 ... その他エラー ・<u>ファイル一括連携方式の場合、一律「99」その他エラーをセットいたします。</u>
3	相手センター確認コード	X(7)	・企業および銀行センターの正当性を確認する。 ・各電文の受信側の企業コード(14桁)をセット。
4	当方センター確認コード	X(7)	・企業および銀行センターの正当性を確認する。 ・各電文の送信側の企業コード(14桁)をセット。
5	通信年月日時分秒	X(6)	・通信実行日付・時刻を記録する。 - XX XX XX XX XX XX - 年 月 日 時 分 秒 ※年は西暦の下2桁
6	パスワード	6 バイト	・開局時のセキュリティチェックに使用。 ・照会・データ伝送では申込書にご記入のパスワード(通信暗証)をセット。 ・連絡では当行担当者とお打ち合わせの上、開局要求電文のチェックを行ってください。
7	アプリケーションID	C(1)	・アプリケーションの種類を示す。 ・0・・・ファイル転送
8	モード	C(1)	・フィル転送の方向を示す。 ・0・・・連絡 ・1・・・照会
9	拡張用エリア	X(34)	・今後の拡張子の予備 (FILLER X'00')
合計		64 バイト	

〈凡例〉 X:ヘキサデシマル C:キャラクター B:バイナリー

バイト:X, B, Cのいずれでもよい。

(2) ファイル制御電文

No.	項目名	桁数	内容
1	電文区分	X(1)	・ファイル制御電文区分を表す。 ・10…開始要求 ・13…終了回答 ・11…開始回答 ・14…再送要求 ・12…終了要求
2	処理結果	X(1)	・要求電文の内容チェックの結果を示す。 - 複数のエラーが発生した場合は、最初にチェックエラーとなったコードをセット。 ・00…正常 ・10…電文区分エラー ・11…ファイル名エラー ・12…ファイルアクセスキーエラー ・13…テキスト数エラー ・14…レコード数エラー ・15…レコード長エラー ・16…二重ファイル伝送エラー ・17…ファイル無し ・18…レコードIDエラー ・19…データ圧縮IDエラー ・99…その他エラー ・<u>ファイル一括連携方式の場合、一律「99」その他エラーをセットいたします。</u>
3	ファイル名	12 バイト	・伝送するファイル名を示す。(詳細は P.31 を参照)
4	ファイルアクセスキー	6 バイト	・該当するファイルの送信者が正当であるか確認する。 ・サービス利用時のセキュリティチェックに使用。 ・照会・データ伝送では申込書にご記入のファイルアクセスキーをセット。(詳細は P.31 を参照)
5	テキスト数	B(2)	・同一ファイル伝送における総テキスト数を表す。 総テキストには再送テキスト数を含めない。
6	レコード数	B(3)	・同一ファイル中に含まれる総レコード数を表す。 総レコードには再送レコード数を含めない。
7	レコードID	C(1)	・同一ファイル中のレコードが固定長か可変長かを表す。 ・0…固定長 ・1…可変長
8	レコード長	B(2)	・同一ファイル中に含まれる 1 件の固定長レコードの長さを示す。
9	再送指定区分	B(4)	・再送時のテキスト範囲を示す。 (当行では現状使用せず)
10	データ圧縮ID	C(1)	・伝送データ圧縮されているかどうかを示す。 ・0…圧縮無 ・1…圧縮有
11	拡張用エリア (ファイル名補助情報)	X(31)	今後の拡張子の予備 (FILLER X'00')
合計		64 バイト	

資料－5 レコードのシーケンス

(1) レコードの種類

レコードの種類は次のように規定しています。

レコード名	内容	データ区分
ヘッダー・レコード	データ・レコードの集まりの始まりを表す	1
データ・レコード	情報の1単位を表す	2
トレーラ・レコード	ヘッダー・レコードで始まるデータ・レコードの集まりの終りを表す	8
エンド・レコード	ファイルの終りを表す	9 [↑]

各レコードの最初の1バイトはデータ区分となっており、これによりレコードの種類を表します。

データ区分	
(1レコード/200 バイト)	
(1レコード/250 バイト)	
(1レコード/120 バイト)	

照会データ・・・振込入金、入出金明細等

照会データ・・・外貨関係取引情報

伝送データ・・・総合振込・給与(賞与)振込等

(2) レコードのシーケンス

レコードのシーケンスは、ヘッダー・データ・トレーラの順とし、最終レコードとしてエンド・レコードを付けます。また、1ファイルは最初のヘッダー・レコードからエンド・レコードまでにより構成されます。

なお、1ファイルに複数のヘッダー・レコードがある場合(マルチヘッダーファイルの場合)、各ヘッダー・レコード上の種別コードは同一種別コードに限定されます。

レコードシーケンスのパターンは次の通りです。

① ヘッダー・レコードが1つのファイルの場合

ヘッダー レコード	データ レコード	データ レコード	データ レコード		トレーラ レコード	エンド レコード
--------------	-------------	-------------	-------------	------	--------------	-------------

② ヘッダー・レコードが複数のファイルの場合

※マルチヘッダーファイルで1日に伝送可能なヘッダー数は、同一会社コード・同一振込指定日につき上限 600 ヘッダー迄となります。

600 ヘッダーを超える場合は、別会社コードをご使用ください。

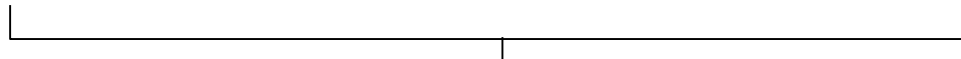
ヘッダー レコード	データ レコード		トレーラ レコード	ヘッダー レコード	データ レコード		トレーラ レコード
--------------	-------------	------	--------------	--------------	-------------	------	--------------



(1)

(2)

ヘッダー レコード	データ レコード		トレーラ レコード	エンド レコード
--------------	-------------	------	--------------	-------------



(3)

③ データ・レコードがない場合

<ご注意点>

照会 … 「0 件データ作成」を「要」でお申送ください。

「0 件データ作成」を「不要」でお申送した場合、および外貨預金入出金明細照会については、ファイル制御電文の「処理結果」は「17:ファイル無し」で返信します。

伝送 … 原則「0」件データは伝送しないでください。

0件ファイル例

ヘッダー レコード	トレーラ レコード	エンド レコード
--------------	--------------	-------------

0件ファイル(マルチヘッダーファイル)例

ヘッダー レコード	トレーラ レコード	ヘッダー レコード	トレーラ レコード	エンド レコード
--------------	--------------	--------------	--------------	-------------

(1)

(2)

資料－6 接続時の注意事項

接続が正常に行われない場合は、通信手順の規約、システム設定環境等について再度ご確認ください。

下記は、総合振込・給与(賞与)振込について、通信制御電文・ファイル制御電文以外でチェックしている項目です。

送信レコードについて、ご確認ください。

(チェック項目にエラーが発生すれば接続は正常に行われません)

(1) 総合振込・給与(賞与)振込チェック例

① ヘッダー・レコード(振込ファイルの最初に必要なレコード)

No.	項目名	桁数	記録要領	
1	データ区分	N(1)	「1」	制御電文のファイル名(全銀手順)との妥当性をチェックします。
2	種別コード	N(2)	「11」、「12」または「21」	
3	コード区分	N(1)	0:JIS 1:EBCDIC	当行で採番したコードがセットされていることをお確かめください。
4	会社コード (振込依頼人コード)	N(10)		
5	御社名	C(40)	左詰め、残りスペース	伝送時限、実在日(銀行営業日)のチェックをします。 ・テスト送信の場合 資料-1(2)「テスト実施要領<AnserDATAPORT 接続の場合>」をご参照ください。 ・本番伝送の場合 本番指定日≤1ヶ月後以内
6	振込指定日	N(4)	MMDD	
7	仕向銀行番号	N(4)	金融機関コード	
8	仕向銀行名	C(15)	左詰め、残りスペース	「0009」であることをお確かめください。
9	仕向支店番号	N(3)	支店番号	
10	仕向支店名	C(15)	左詰め、残りスペース	実在店であることをお確かめください。
11	預金種目	N(1)	「1」「2」または「9」	
12	口座番号	N(7)	右詰め、残り前「0」	
13	ダミー	C(17)	スペース	

(120)

② データ・レコード(一件ごとの振込明細)

No.	項目名	桁数	記録要領
1	データ区分	N(1)	「2」
2	被仕向銀行番号	N(4)	金融機関コード
3	被仕向銀行名	C(15)	左詰め、残りスペース
4	被仕向支店番号	N(3)	支店番号
5	被仕向支店名	C(15)	左詰め、残りスペース
6	手形交換所番号	N(4)	「0000」
7	預金種目	N(1)	「1」、「2」、「4」または「9」
8	口座番号	N(7)	右詰め、残り前「0」
9	受取人名	C(30)	左詰め、残りスペース
10	振込金額	N(10)	右詰め、残り前「0」
11	新規コード	N(1)	「0」、「1」、「2」
12	顧客コード1	N(10)	依頼人が定めた受取人識別のための顧客コードを表します。 項番 15 識別表示欄に「Y」表示を付した場合には本欄の内容は依頼人から受取人に対して通知する EDI 情報を表します。 左詰め残りスペースとしてください。
13	顧客コード2	N(10)	
14	振込指定区分	N(1)	「7」、「8」または「0、スペース」
15	識別表示	C(1)	
16	ダミー	C(7)	スペース

(120)

未入力チェックを実施します。

振込金額 > 0 であることをお確かめください。

依頼人が定めた受取人識別のための顧客コードを表します。
項番 15 識別表示欄に「Y」表示を付した場合には本欄の内容は依頼人から受取人に対して通知する EDI 情報を表します。
左詰め残りスペースとしてください。

スペースまたは「Y」または「A」「B」「C」「D」としてください。
本欄に「Y」表示を付した場合は項番 12・13 の項目内容は「EDI 情報」を表します。
本欄に「A」「B」「C」「D」表示を付した場合は項番 12・13 の項目内容は「振込人はっきりサービス」(当行独自サービス)の付加情報を表します。

③ トレーラ・レコード(振込合計件数・金額のチェック用レコード)

No.	項目名	桁数	記録要領
1	データ区分	N(1)	「8」
2	合計件数	N(6)	右詰め、残り前「0」
3	合計金額	N(12)	同上
4	ダミー	C(101)	スペース

(120)

データ・レコード件数をチェックします。

データ・レコード内の金額合計をチェックします。

資料－7 レコードのフォーマット

各取引のレコードフォーマットは全銀協フォーマットに準拠しておりますが、一部当行固有のフォーマットがございますので、ご確認ください。

項目各頭部に「＊」があるものは任意項目。他は必須項目です。

(1) 振込入金明細

① ヘッダー・レコード

No.	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	レコード種類を表します。 ・1…ヘッダー・レコード
2	種別コード	N(2)	業務種別を表します。 ・01…振込入金通知
3	コード区分	N(1)	使用コード区分を表します。 ・0…JIS ・1…EBCDIC
4	作成日	N(6)	データ作成日を表します。 ・YYMMDD…和暦年(YY)月(MM)日(DD)
5	勘定日(自)	N(6)	勘定日の期間を表します。 ・YYMMDD…勘定日(自)和暦年(YY)月(MM)日(DD) ・YYMMDD…勘定日(至)和暦年(YY)月(MM)日(DD)
6	勘定日(至)	N(6)	ただし、営業日単位で通知する場合は(自)(至)を 同一年月日とします。
7	銀行コード	N(4)	取引銀行コードを表します。 ・××××…金融機関コード
8	銀行名	C(15)	取引銀行名…左詰め、残りスペース
9	支店コード	N(3)	取引支店コードを表します。 ・×××…支店番号
10	支店名	C(15)	取引支店名…左詰め、残りスペース
11	預金種目	N(1)	預金種目を表します。 ・1…普通預金 ・4…貯蓄預金 ・2…当座預金
12	口座番号	N(7)	取引口座番号を表します。 ・×××××××…右詰め、残り前「0」
13	口座名	N(40)	口座名…左詰め、残りスペース
14	ダミー	C(93)	ダミー・エリア(スペース)

(200)

② データ・レコード

金額が 10 桁以下の場合はフォーマットA、11 桁以上の場合はフォーマットBとなります。
 なお、当行は金額が 11 桁以上になった明細のみフォーマットBになるため、データ・レコードの中にフォーマットAとフォーマットBが混在することがあります。

(フォーマットA)

No.	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	レコード種類を表します。 ・2…データ・レコード
2	* 照会番号	N(6)	銀行が採番した照会用番号…右詰め、残り前「0」
3	勘定日	N(6)	勘定日を表します。 ・YYMMDD…和暦年(YY)月(MM)日(DD)
4	起算日	N(6)	入金时起算日を表します。 ・YYMMDD…和暦年(YY)月(MM)日(DD) 通常は勘定日と同日ですが、その場合には勘定日と 同一年月日を記録します。
5	金額	N(10)	入金額…右詰め、残り前「0」
6	うち他店券金額	N(10)	入金額中の他店券金額…右詰め、残り前「0」
7	* 振込依頼人コード	N(10)	仕向銀行からの為替通知に付された振込依頼人の 識別コードを記録します。 (セットがない場合はスペース) ・××××××××××…右詰め、残り前「0」
8	振込依頼人名※	C(48)	振込依頼人名…左詰め、残りスペース
9	* 仕向銀行名	C(15)	仕向銀行名…左詰め、残りスペース
10	* 仕向店名	C(15)	仕向店名…左詰め、残りスペース
11	* 取消区分	N(1)	振込入金通知を取消す場合に使用します。 ・1…取消 スペース…正常
12	* EDI 情報	C(20)	仕向銀行からの為替通知に記載された EDI 情報を記 録します。…左詰め、残りスペース
13	ダミー	C(52)	ダミー・エリア(スペース)

(200)

(フォーマットB)

No.	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	レコード種類を表します。 ・2…データ・レコード
2	* 照会番号	N(6)	銀行が採番した照会用番号…右詰め、残り前「0」
3	勘定日	N(6)	勘定日を表します。 ・YYMMDD…和暦年(YY)月(MM)日(DD)
4	起算日	N(6)	入金时起算日を表します。 ・YYMMDD…和暦年(YY)月(MM)日(DD) 通常は勘定日と同日ですが、その場合には勘定日と 同一年月日を記録します。
5	金額(1)	N(10)	入金額 (振込入金金額が 10 桁以内の場合) ・××××××××××…右詰め、残り前「0」 振込入金金額が 11 桁以上の場合は「0」

No.	項目名	桁数	内容
6	うち他店券金額	N(10)	入金額中の他店券金額 (振込入金金額が 10 桁以内の場合) ・××××××××××…右詰め、残り前「0」 振込入金金額が 11 桁以上の場合は「0」
7	* 振込依頼人コード	N(10)	仕向銀行からの為替通知に付された振込依頼人の 識別コードを記録します。 (セットがない場合はスペース) ・××××××××××…右詰め、残り前「0」
8	振込依頼人名※	C(48)	振込依頼人名…左詰め、残りスペース
9	* 仕向銀行名	C(15)	仕向銀行名…左詰め、残りスペース
10	* 仕向店名	C(15)	仕向店名…左詰め、残りスペース
11	* 取消区分	N(1)	振込入金通知を取消す場合に使用します。 ・1…取消 スペース…正常
12	金額(2)	N(12)	入金額 (振込入金金額が 11 桁以上の場合) ・××××××××××××…右詰め、残り前「0」 振込入金金額が 10 桁以内の場合は「0」
13	うち他店券金額(2)	N(12)	入金額中の他店券金額 (振込入金金額が 11 桁以上の場合) ・××××××××××××…右詰め、残り前「0」 振込入金金額が 10 桁以内の場合は「0」
14	* EDI 情報	C(20)	仕向銀行からの為替通知に記載された EDI 情報を記 録します。 ・1…取消 スペース…正常
15	ダミー	C(28)	ダミー・エリア(スペース)

(200)

※ 振込依頼人名の頭部に数字がセットされていた場合、数字のみ 10 桁までを振込依頼人コード欄へ移送するのが当行の標準仕様です。

③ トレーラ・レコード

No.	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	レコード種類を表します。 ・8…トレーラ・レコード
2	振込合計件数	N(6)	振込入金合計件数を表します。 ・××××××…右詰め、残り前「0」
3	振込合計金額	N(12)	振込入金合計金額を表します。 ・××××××××××××…右詰め、残り前「0」
4	* 取消合計件数	N(6)	振込入金取消の合計件数を表します。 ・××××××…右詰め、残り前「0」
5	* 取消合計金額	N(12)	振込入金取消の合計金額…右詰め、残り前「0」 ・××××××××××××…右詰め、残り前「0」
6	ダミー	C(163)	ダミー・エリア(スペース)

(200)

④ エンド・レコード

No.	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	レコード種類を表します。 ・9…エンド・レコード
2	ダミー	C(199) (200)	ダミー・エリア(スペース)

⑤ ご注意点

- ダミー・エリア(スペース)は、当行で任意に利用する場合があります。

(2) 入出金取引明細

① ヘッダー・レコード

No.	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	レコード種類を表します。 ・1…ヘッダー・レコード
2	種別コード	N(2)	業務種別を表します。 ・03…入出金取引明細
3	コード区分	N(1)	使用コード区分を表します。 ・0…JIS ・1…EBCDIC
4	作成日	N(6)	データ作成日を表します。 ・YYMMDD…和暦年(YY)月(MM)日(DD)
5	勘定日(自)	N(6)	勘定日の期間を表します。 ・YYMMDD…勘定日(自)和暦年(YY)月(MM)日(DD)
6	勘定日(至)	N(6)	・YYMMDD…勘定日(至)和暦年(YY)月(MM)日(DD) ただし、営業日単位で通知する場合は(自)(至)を同一年月日とします
7	銀行コード	N(4)	取引銀行コードを表します。 ・××××…金融機関コード
8	銀行名	C(15)	取引銀行名…左詰め、残りスペース
9	支店コード	N(3)	取引支店コードを表します。 ・×××…支店番号
10	支店名	C(15)	取引支店名…左詰め、残りスペース
11	ダミー	N(3)	将来の拡張用の予備エリア ・000…すべて「0」とします。
12	預金種目	N(1)	預金種目を表します。 ・1…普通預金 ・5…通知預金 ・2…当座預金 ・6…定期預金 ・4…貯蓄預金 ・7…積立定期預金
13	口座番号※	N(10)	取引口座番号を表します。 ・××××××××××…右詰め、残り前「0」
14	口座名	N(40)	口座名…左詰め、残りスペース
15	* 貸越区分	N(1)	取引残高の状態を表します。 ・1…プラス ・2…マイナス
16	* 通帳・証書区分	N(1)	取引が通帳によるか証書によるかの区分を示します。 ・1…通帳 ・2…証書

No.	項目名	桁数	内容
17	* 取引前残高	N(14)	・取引前残高…右詰め、残り前「0」
18	ダミー	C(71)	ダミー・エリア(スペース)

(200)

※ 普通預金、当座預金、貯蓄預金は7桁以下ですが、その他の預金については一部の銀行において7桁を超える場合があるため10桁としております。

② a. データ・レコード…普通預金・当座預金・貯蓄預金の場合

No.	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	レコード種類を表します。 ・2…データ・レコード
2	* 照会番号	N(8)	銀行が採番した照会用番号…右詰め、残り前「0」
3	勘定日	N(6)	勘定日を表します。 ・YYMMDD…和暦年(YY)月(MM)日(DD)
4	預入・払出日	N(6)	入金・出金の起算日を表します。 ・YYMMDD…和暦年(YY)月(MM)日(DD) 通常は勘定日と同日ですが、その場合には勘定日と同一年月日を記録します。
5	入払区分 ※1	N(1)	入出金の状態を表します。 ・1…入金 ・2…出金
6	* 取引区分	N(2)	取引形態を表します。 ・10…現金 ・11…振込 ・12…他店券入金 ・13…交換(取立入金および交換払) ・14…振替 ・18…その他 ・19…訂正 ※1
7	取引金額	N(12)	取引金額 ・XXXXXXXXXX…右詰め、残り前「0」
8	うち他店券金額	N(12)	取引金額中の他店券金額 ・XXXXXXXXXX…右詰め、残り前「0」
9	* 交換呈示日 ※2	N(6)	証券類の交換呈示日を表します。 ・YYMMDD…和暦年(YY)月(MM)日(DD) セットがない場合はスペース
10	* 不渡返還日	N(6)	証券類の不渡返還日を表します。 ・YYMMDD…和暦年(YY)月(MM)日(DD) セットがない場合はスペース
11	* 手形・小切手区分	N(1)	手形・小切手の種別を表します。 ・1…小切手 ・2…約束手形 ・3…為替手形 セットがない場合はスペース

No.	項目名	桁数	内容
12	* 手形小切手番号	N(7)	手形・小切手番号を表します。 ・×××××××…右詰め、残り前「0」 セットがない場合はスペース
13	* 僚店番号	N(3)	取引のあった店を表します。(統一店番号) (自店取引の場合はスペース)
14	* 振込依頼人コード	N(10)	仕向銀行からの為替通知に付された振込依頼人の 識別コードを記録します。 ・××××××××××…右詰め、残り前「0」 セットがない場合はスペース
15	振込依頼人名※3 または * 契約者番号	C(48)	[入払区分が「1」(入金)の場合] ・振込依頼人名…左詰め、残りスペースとします。 [入払区分が「2」(出金)の場合] ・預金口座振替の契約者番号(収納企業が採番し た 20 桁以内のコード)を左 20 桁に記録し残り 28 桁はスペースとします。
16	* 仕向銀行名	C(15)	仕向銀行名…左詰め、残りスペース
17	* 仕向店名	C(15)	仕向店名…左詰め、残りスペース
18	* 摘要内容	C(20)	摘要
19	* EDI 情報※4	C(20)	仕向銀行からの為替通知に記載されたEDI情報を記 録します。…左詰め、残りスペース
20	ダミー	C(1)	ダミー・エリア(スペース)

(200)

- ※1 取引区分の訂正「19」を使用する場合には、入払区分を入金の訂正は出金「2」、出金の訂正は入金「1」と記録します。
- ※2 実際の交換呈示日と異なる場合があります。
- ※3 振込依頼人名の頭部に数字がセットされていた場合、数字のみ 10 桁までを振込依頼人コード欄へ移送するのが当行の標準仕様です。
- ※4 口座振替による出金時(口座引落)の入出金明細のファイルレイアウトは、項番 19 および 20 については以下の通りとなります。CSV 形式でダウンロードした場合、項番 19 の後ろにカンマが付き、項番 20 には何も設定されません。

No.	項目名	桁数	内容
19	* ダミー (EDI 情報※4)	C(21)	《1バイト目》 ・1:ガス 2:水道 3:電気 4:電話 5:NHK 0または9:その他 《2~21 バイト目》 ・口座振替の需要家番号(口座振替の場合のみ)
20	ダミー	C(0)	ダミー・エリア(スペース)

② b. データ・レコード…通知預金・定期預金・積立定期預金の場合

No.	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	レコード種類を表します。 ・2…データ・レコード
2	* 識別番号	N(8)	預入番号等取引を特定する番号 ・××××××××…右詰め、残り前「0」
3	勘定日	N(6)	勘定日を表します。 ・YYMMDD…和暦年(YY)月(MM)日(DD)
4	預入・払出日	N(6)	入金・出金の起算日を表します。 ・YYMMDD…和暦年(YY)月(MM)日(DD) 通常は勘定日と同日ですが、その場合には勘定日と同年月日を記録します。
5	入払区分 ※1	N(1)	入出金の状態を表します。 ・1…入金 ・2…出金
6	* 取引区分	N(2)	取引形態を表します。 ・10…現金 ・11…振込 ・12…他店券入金 ・13…交換(取立入金および交換払) ・14…振替 ・15…継続(自動継続を含む) ・18…その他 ・19…訂正 ※
7	取引金額	N(12)	取引金額 ・××××××××××××…右詰め、残り前「0」
8	うち他店券金額	N(12)	取引金額中の他店券金額 ・××××××××××××…右詰め、残り前「0」
9	* 交換呈示日 ※2	N(6)	証券類の交換呈示日を表します。 ・YYMMDD…和暦年(YY)月(MM)日(DD) セットがない場合はスペース
10	* 不渡返還日	N(6)	証券類の不渡返還日を表します。 ・YYMMDD…和暦年(YY)月(MM)日(DD) セットがない場合はスペース
11	* 手形・小切手区分	N(1)	手形・小切手の種別を表します。 ・1…小切手 ・2…約束手形 ・3…為替手形 セットがない場合はスペース
12	* 手形・小切手番号	N(1)	内訳科目コード ・1…MMDA 2…MMC 3…スーパーMMC ・4…スーパー定期 5…変動金利定期 セットがない場合はスペース
		N(1)	継続区分 ・1…元利自動継続型 ・2…利払自動継続型 3…自動解約型 ・4…自店処理型 0…その他 セットがない場合はスペース
		N(5)	スペース

No.	項目名	桁数	内容
13	* 僚店番号	N(3)	取引のあった店を表します。(統一店番号) (自店取引の場合はスペース)
14	* 当初預入日	N(6)	継続された定期預金・積立定期預金の当初預入日は、預入の場合は継続前の最初の預入日、支払の場合は最後の継続日を記録します。 ・YYMMDD…和暦年(YY)月(MM)日(DD)
15	利率 ※3	C(6)	預入時の利率(年利)を表します。 ・利率が変更になった場合はスペース、期限前解約の場合は、期限前解約利率を表します。 ・ <u>xx.xxxxx</u> …預入時の利率または期限前解約利率(小数第4位まで)
16	* 満期日	N(6)	定期預金・積立定期預金の満期日を表します。 (積立定期預金の場合は口座契約上の満期日) ・YYMMDD…和暦年(YY)月(MM)日(DD)
17	* 期間	N(7)	預入日から満期日(通知預金は勘定日)までの期間(積立定期預金の場合は口座契約上の期間) 年・月・日のいずれかで表します。 ・ <u>xx.xx xxxxx</u> 年 月 日 使用しないものはすべて「0」とします。 年・月・日とも右詰め、残り前「0」とします。
18	* 期間利息	N(11)	期間中に発生した利息額。ただし、2年定期預金の場合は、中間払利息を控除した額となります。 使用しないものはすべて「0」とします。 ・ <u>xxxxxxxxxxxx</u> …右詰め、残り前「0」
19	* 中間払利率	N(6)	2年定期預金の中間払利率(年利)を表します。 ・ <u>xx.xxxxx</u> …中間払利率(小数第4位まで)
20	* 中間払区分	N(1)	2年定期預金の中間払利息の支払区分を表します。 ・1…現払 ・2…指定口座への振替 ・3…1年定期預金の作成
21	* 期後期間	N(4)	定期預金・積立定期預金の満期日から解約日(勘定日)までの期間(日数表示)を表します。 ・ <u>xxxx</u> …右詰め、残り前「0」
22	* 期後利率	N(6)	期後期間に適用される利率(年率) ・ <u>xx.xxxxx</u> …期後利率(小数第4位まで)
23	* 期後利息	N(9)	期後期間に発生した利息額を表します。 ・ <u>xxxxxxxxxx</u> …右詰め、残り前「0」
24	* 合計利息	N(11)	利息の合計額を表します。 ・ <u>xxxxxxxxxxxx</u> …右詰め、残り前「0」
25	* 税区分	N(1)	利息に対する課税区分を表します。 ・1…総合課税 ・5…非居住者 ・2…分離課税 ・9…その他 ・3…マル優
26	* 税率	N(4)	利息額に適用される税率(年利)を表します。 税率がゼロとなる場合は、すべて「0」、税率が変更になった場合はスペースとなります。 ・ <u>xx.xx</u> …税率(小数第2位まで)

No.	項目名	桁数	内容
27	* 税額	N(10)	(期間利息×税率) + (期後利息×税率) ・××××××××××…右詰め、残り前「0」
28	* 税引後利息	N(11)	合計利息 - 税額 ・×××××××××××…右詰め、残り前「0」
29	* 摘要内容	C(20)	摘要
30	ダミー	C(10)	ダミー・エリア(スペース)

(200)

※1 取引区分の訂正「19」を使用する場合には、入払区分を入金の訂正は出金「2」、出金の訂正は入金「1」と記録します。

※2 実際の交換呈示日と異なる場合があります。

※3 取引区分の訂正「19」を使用する場合には、スペースとすることがあります。

③ トレーラ・レコード

No.	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	レコード種類を表します。 ・8…トレーラ・レコード
2	入金件数	N(6)	入金合計件数を表します。 ・××××××…右詰め、残り前「0」
3	入金額合計	N(13)	入金額合計を表します。 ・××××××××××××× 右詰め、残り前「0」
4	出金件数	N(6)	出金合計件数を表します。 ・××××××…右詰め、残り前「0」
5	出金額合計	N(13)	出金額合計を表します。 ・××××××××××××× 右詰め、残り前「0」
6	* 貸越区分	N(1)	取引後残高の状態を表します。 ・1…プラス ・2…マイナス
7	* 取引後残高	N(14)	取引後残高を表します。 ・××××××××××××× 右詰め、残り前「0」
8	データ・レコード件数	N(7)	データ・レコードの総件数を表します。 ・×××××××…右詰め、残り前「0」
9	ダミー	C(139)	ダミー・エリア(スペース)

(200)

④ エンド・レコード

No.	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	レコード種類を表します。 ・9…エンド・レコード
2	レコード総件数	N(10)	レコード総件数を表します。 ・××××××××××…右詰め、残り前「0」
3	口座数	N(5)	口座数を表します。 ・×××××…右詰め、残り前「0」
4	ダミー	C(184)	ダミー・エリア(スペース)

(200)

⑤ ご注意点

- ダミー・エリア(スペース)は、当行で任意に利用する場合があります。

(3) 総合振込・給与(賞与)振込

① ヘッダー・レコード(振込ファイルの最初に必要なレコード)

No.	項目名	桁数	記録要領	内容
1	データ区分	N(1)	「1」	
2	種別コード	N(2)	「11」、「12」、「21」	11…給与振込 12…賞与振込 21…総合振込
3	コード区分	N(1)	コード番号	貴社電算機の使用コード ・EBCDIC コード…「1」 ・JIS コード (EBCDIC コード以外)…「0」※
4	会社コード (振込依頼人コード)	N(10)		貴社の特定コードを当行であらかじめ指定させていただきます。
5	御社名	C(40)	左詰め、残りスペース	貴社名をカナ文字にて記録してください。(事業所、出張所名を含めて結構です)
6	振込指定日	N(4)	MMDD	実際に振込を行う月、日を記録してください。(銀行営業日) ・MM(月)DD(日)
7	仕向銀行番号	N(4)	金融機関コード	当行の金融機関コードは「0009」です。
8	* 仕向銀行名	C(15)	左詰め、残りスペース	「ミツイスミモ ギンコウ」または「ミツイスミモ」と記録してください。
9	仕向支店番号	N(3)	支店番号	貴社のお取引いただいている当行本支店の支店番号を記録してください。
10	* 仕向支店名	C(15)	左詰め、残りスペース	貴社のお取引いただいている当行本支店の店舗名を記録してください。
11	預金番号	N(1)	「1」、「2」または「9」	貴社のお取引店での当行の預金種目と口座番号を数字で記録してください。
12	口座番号	N(7)	右詰め、残り前「0」	1…普通預金 2…当座 9…その他
13	ダミー	C(17)	スペース	ダミー・エリア(スペース)

(120)

※ TTCにより判断します。

X(1)	B(2)	B(2)
------	------	------



情報区分 × ×



接続形態 0

1

— CPU — コード区分「1」EBCDIC

— パソコン — 「0」JIS

② データ・レコード(一件ごとの振込明細)

No.	項目名	桁数	記録要領	内容
1	データ区分	N(1)	「2」	
2	被仕向銀行番号	N(4)	金融機関コード	お振込先の指定された金融機関の金融機関コードを記録してください。
3	被仕向銀行名※1	C(15)	左詰め、残りスペース	お振込先の金融機関名を記録してください。
4	被仕向支店番号	N(3)	支店番号	お振込先の金融機関の支店番号を記録してください。
5	被仕向支店名※1	C(15)	左詰め、残りスペース	お振込先の金融機関の店舗名を記録してください。
6	手形交換所番号	N(4)		記録不要です。
7	預金種目	N(1)	「1」、「2」、「4」または、「9」	お振込先の指定された預金種目および口座番号を数字で記録してください。※2 1…普通預金 2…当座 4…貯蓄預金 9…その他
8	口座番号	N(7)	右詰め、残り前「0」	
9	受取人名	C(30)	左詰め、残りスペース	お振込先名をカナで記録してください。
10	振込金額※3	N(10)	右詰め、残り前「0」	振込額を数字で記録してください。(＋、－符号はつけないでください)
11	新規コード	N(1)	「0」、「1」、「2」	「0」…継続、「1」…新規振込開始 「2」…指定口座等の変更
12	*顧客コード1 ※4	N(10)	右詰め、残り前「0」	貴社が定めた受取人識別のための顧客コードを記録してください。
13	*顧客コード2 ※4	N(10)	右詰め、残り前「0」	
12 ＋ 13	*EDI 情報	C(20)	左詰め、残りスペース	項番 15 の識別表示欄に「Y」表示をした場合には、本欄の内容は「EDI 情報」を表します。
14	*振込指定区分	N(1)	「7」「8」または「0」、スペース	7…テレ振込(電信扱) 8…文書扱※5
15	識別表示※4※5	C(1)	「Y」またはスペース	本欄に「Y」表示をした場合は、項番 12・13 の項目内容は「EDI情報」を表します。
16	ダミー	C(7)	スペース	ダミー・エリア(スペース)

(120)

- ※1 項番 3「被仕向銀行名」と項番 5「被仕向支店名」は入力任意です。
(スペースでも構いません)
- ※2 「給与振込」の場合は、お振込先預金種目は「1 普通預金」「2 当座」のみ対象です。
- ※3 振込金額がゼロのレコードは含めないでください。
- ※4 振込人はっきりサービスを利用する場合は、この限りではありません。
詳細は、【P.16－4.オプションサービス(2)振込人はっきりサービス】を参照してください。
- ※5 給与(賞与)振込の場合は、14「振込指定区分」と15「識別表示」はそれぞれC(1)のスペースとなります。総合振込の場合は、当行は14「振込指定区分」の内容に関わらず「電信扱」で取扱います。

③ トレーラ・レコード(振込合計件数・金額チェック用のレコード)

No.	項目名	桁数	記録要領	内容
1	データ区分	N(1)	「8」	
2	合計件数	N(6)	右詰め、残り前「0」	振込(データ・レコード)の合計件数を記録してください。
3	合計金額	C(12)	同上	振込(データ・レコード)の合計金額を記録してください。
4	ダミー	C(101)	スペース	ダミー・エリア(スペース)

(120)

④ エンド・レコード

No.	項目名	桁数	記録要領	内容
1	データ区分	N(1)	「9」	
2	ダミー	C(119)	スペース	ダミー・エリア(スペース)

(120)

(4) 個人地方税納付

① ヘッダー・レコード

No.	項目名	桁数	記録要領	内容
1	データ区分	N(1)	「1」	
2	種別コード	N(2)	「99」	
3	コード区分	N(1)	コード番号	貴社電算機の使用コード ・EBCDIC コード…「1」 ・JIS コード (EBCDIC コード以外)…「0」※
4	会社コード	N(10)		貴社の特定コードを当行であらかじめ指定させていただきます。
5	取引支店番号	N(3)	支店番号	貴社がお取引されている当行本支店の支店番号を記録してください。
6	納期限	N(6)	YYMMDD	納期限を和暦の年月日(納期限が休日の場合は翌銀行営業日)で記録してください。 例・・令和3年9月10日分→「030910」
7	納付月分	N(4)	YYMM	記録されているデータの納付月を和暦の年月で記録してください。 例・・令和3年8月分→「0308」
8	委託者名	C(40)	左詰め、残りスペース	納付書に印字する貴社名をカナ文字により記録してください。
9	住所	C(50)	左詰め、残りスペース	納付書に印字する貴社の住所をカナ文字により記録してください。
10	ダミー	C(3)	スペース	ダミー・エリア(スペース)

(120)

② データ・レコード

No.	項目名		桁数	記録要領	内容
1	データ区分		N(1)	「2」	
2	市区町村コード ※1		N(6)		総務省制定の「全国地方公共団体コード」によります。
3	市区町村名		C(15)	左詰め、残りスペース	
4	指定番号		C(15)	左詰め、残りスペース	市町村から送付される納付書から登録してください。(課税通知書からの登録は避けてください。特にハイフンの記録漏れにご注意願います)
5	給与所定者の異動コード		N(1)	「0」、「1」	・「0」…異動なし ・「1」…異動あり ※2
6	給与	件数	N(5)	右詰め、残り前「0」	給与所得にかかる市町村民税の件数・税額を記録してください。 なお、退職時に給与所得にかかる市町村民税を年度末分まで一括した場合もここに記録してください。
		金額	N(9)		
7	退職	件数	N(5)	右詰め、残り前「0」 (記録内容がない場合は全部「0」です)	退職所得にかかる市町村民税+道府県民税の件数・税額を記録してください。
		金額	N(9)		
8	合計	件数	N(5)	右詰め、残り前「0」	「給与+退職」の件数・金額を記録してください。
		金額	N(9)		
9	退職明細	人員	N(3)	右詰め、残り前「0」	7「退職」を記録した場合は、必ず退職明細を全て記録してください。 7「退職」を記録しない場合は、全部「0」を記録してください。 ①人員…退職人員 (7「退職」の件数と一致します) ②支払金額…退職金支払金額 ③市町村民税…退職金にかかる税額のうち市町村民税分 ④道府県民税…同上の道府県民税分 「市町村民税+道府県民税」は項目7の退職税額に一致します。
		支払金額	N(10)		
		市町村民税	N(9)		
		道府県民税	N(9)		
10	ダミー		C(9)	スペース	ダミー・エリア(スペース)

(120)

※1 市区町村コードに誤りがあった場合、全件取消となり、再度伝送が必要になりますのでご注意ください。

※2 退職金額が0円の場合、「0:異動なし」を設定してください。

③ トレーラ・レコード

No.	項目名	桁数	記録要領	内容
1	データ区分	N(1)	「8」	
2	給与合計	件数	N(7) 右詰め、残り前「0」	データ・レコードの給与(②の項目 6) 件数の集計を記録してください。
		金額		データ・レコードの給与(②の項目 6) 金額の集計を記録してください。
3	退職合計	件数	N(7) 右詰め、残り前「0」 (記録内容がない場合は全部「0」です)	データ・レコードの給与(②の項目 7) 件数の集計を記録してください。
		金額		データ・レコードの給与(②の項目 7) 金額の集計を記録してください。
4	合計	件数	N(7) 右詰め、残り前「0」	「給与合計+退職合計」の件数・金額を記録してください。
		金額		
5	ダミー	C(65) (120)	スペース	ダミー・エリア(スペース)

④ エンド・レコード

No.	項目名	桁数	記録要領	内容
1	データ区分	N(1)	「9」	
2	ダミー	C(119) (120)	スペース	ダミー・エリア(スペース)

(5) 預金口座振替 (依頼明細)

① ヘッダー・レコード(振替ファイルの最初に必要なレコード)

No.	項目名	桁数	記録要領	内容
1	データ区分	N(1)	「1」	
2	種別コード	N(2)	「91」	91…預金口座振替
3	コード区分	N(1)	コード番号	貴社電算機の使用コード ・EBCDIC コード…「1」 ・JIS コード (EBCDIC コード以外)…「0」※
4	委託者コード	N(10)	右詰め、残り前「0」	貴社の特定コードを当行であらかじめ指定させていただきます。
5	貴社名	C(40)	左詰め、残りスペース	貴社名をカナ文字にて記録してください。(事業所、出張所名を含めて結構です)
6	引落日	N(4)	MMDD	実際に引落を行う月、日を記録してください。(銀行営業日) ・MM(月)DD(日) 例…令和3年9月10日分→「0910」
7	取引銀行番号	N(4)	金融機関コード	当行の金融機関コードは「0009」です。
8	* 取引銀行名	C(15)	左詰め、残りスペース	「ミツイストモ ギンコウ」または「ミツイストモ」と記録してください。
9	取引支店番号	N(3)	支店番号	サービスご利用口座の支店番号を記録してください。

No.	項目名	桁数	記録要領	内容
10	*取引支店名	C(15)	左詰め、残りスペース	サービスご利用口座の店舗名を記録してください。
11	預金種目	N(1)	「1」、「2」または「9」	サービスご利用口座の預金種目と口座番号を数字で記録してください。 1…普通預金 2…当座 9…その他
12	口座番号	N(7)	右詰め、残り前「0」	
13	ダミー	C(17)	スペース	ダミー・エリア(スペース) (当行で利用しますので、必ずスペースとして下さい。)

(120)

※ TTCにより判断します。

X(1)	B(2)	B(2)
------	------	------

情報区分 $\times \times$ 

接続形態 0 — CPU — コード区分「1」EBCDIC
1 — パソコン — 「0」JIS

※ No9～No12 についてサービス利用口座をご指定ください。

② データ・レコード(一件ごとの振替明細)

No.	項目名	桁数	記録要領	内容
1	データ区分	N(1)	「2」	
2	引落銀行番号	N(4)	金融機関コード	引落先の指定された金融機関の金融機関コードを記録してください。
3	* 引落銀行名	C(15)	左詰め、残りスペース	引落先の金融機関名を記録してください。
4	引落支店番号	N(3)	支店番号	引落先の金融機関の支店番号を記録してください。
5	* 引落支店名	C(15)	左詰め、残りスペース	引落先の金融機関の店舗名を記録してください。
6	ダミー	C(4)		記録不要です。
7	預金種目	N(1)	「1」、「2」、「3」または、「9」	引落先の指定された預金種目および口座番号を数字で記録してください。 1…普通預金 2…当座 3…納税準備預金 9…その他
8	口座番号	N(7)	右詰め、残り前「0」	
9	預金者名	C(30)	左詰め、残りスペース	預金者名をカナ文字で記録してください。
10	引落金額	N(10)	右詰め、残り前「0」	引落額を数字で記録してください。 (+、- 符号はつけないでください 引落額「0」のデータは入れないでください。)
11	新規コード	N(1)	「0」、「1」、「2」	「0」…継続、「1」…第1回引落分 「2」…指定口座等の変更
12	顧客番号	N(20)	右詰め、残り前「0」	貴社が定めた顧客番号を記録してください。

No.	項目名	桁数	記録要領	内容
13	振替結果コード	N(1)	右詰め、残り前「0」	振替処理を行った結果を表します。 依頼明細では「0」とします。
14	ダミー	C(8)	スペース	ダミー・エリア(スペース)

(120)

③ トレーラ・レコード(振替合計件数・金額のチェック用レコード)

No.	項目名	桁数	記録要領	内容
1	データ区分	N(1)	「8」	
2	合計件数	N(6)	右詰め、残り前「0」	(データ・レコード)の合計件数を記録してください。
3	合計金額	N(12)	同上	(データ・レコード)の合計金額を記録してください。
4	振替済件数	N(6)	すべて「0」	
5	振替済金額	N(12)	すべて「0」	
6	振替不能件数	N(6)	すべて「0」	
7	振替不能金額	N(12)	すべて「0」	
8	ダミー	C(65)	スペース	ダミー・エリア(スペース)

(120)

④ エンド・レコード

No.	項目名	桁数	記録要領	内容
1	データ区分	N(1)	「9」	
2	ダミー	C(119)	スペース	ダミー・エリア(スペース)

(120)

(6) 預金口座振替 (結果明細)

① ヘッダー・レコード

No.	項目名	桁数	記録要領	内容
1	データ区分	N(1)	「1」	
2	種別コード	N(2)	「91」	91…預金口座振替
3	コード区分	N(1)	コード番号	貴社電算機の使用コード ・EBCDIC コード…「1」 ・JIS コード (EBCDIC コード以外)…「0」※
4	委託者コード	N(10)		貴社の特定コードを記録します。
5	貴社名	C(40)	左詰め、残りスペース	貴社名をカナ文字により記録します。
6	引落日	N(4)	MMDD	実際に引落を行う月、日を記録します。(銀行営業日) ・MM(月)DD(日)
7	取引銀行番号	N(4)	金融機関コード	当行の金融機関コードは「0009」です。

No.	項目名	桁数	記録要領	内容
8	*取引銀行名	C(15)	左詰め、残りスペース	「ミツイストモ ギンコウ」または「ミツイストモ」と記録してください。
9	取引支店番号	N(3)	支店番号	貴社のお取引いただいている当行本支店の支店番号を記録します。
10	*取引支店名	C(15)	左詰め、残りスペース	貴社のお取引いただいている当行本支店の店舗名を記録します。
11	預金種目	N(1)	「1」、「2」または「9」	貴社のお取引店における当行の預金種目および口座番号の数字で記録します。 1…普通預金 2…当座 9…その他
12	口座番号	N(7)	右詰め、残り前「0」	
13	ダミー	C(17)	スペース	ダミー・エリア(スペース)

(120)

※ TTCにより判断します。

X(1)	B(2)	B(2)
------	------	------

↑ 情報区分 × ×

↑ 接続形態 0 — CPU — コード区分「1」EBCDIC
1 — パソコン — 「0」JIS

② データ・レコード

No.	項目名	桁数	記録要領	内容
1	データ区分	N(1)	「2」	
2	引落銀行番号	N(4)	金融機関コード	引落先の指定された金融機関の金融機関コードを記録します。
3	*引落銀行名	C(15)	左詰め、残りスペース	引落先の金融機関名を記録します。
4	引落支店番号	N(3)	支店番号	引落先金融機関の支店番号を記録します。
5	*引落支店名	C(15)	左詰め、残りスペース	引落先金融機関の店舗名を記録します。
6	ダミー	N(4)		
7	預金種目	N(1)	「1」、「2」、「3」または、「9」	引落先の指定された預金種目および口座番号を数字で記録します。 1…普通預金 2…当座 3…納税準備預金 9…その他
8	口座番号	N(7)	右詰め、残り前「0」	
9	預金者名	C(30)	左詰め、残りスペース	預金者名をカナ文字で記録します。
10	引落金額	N(10)	右詰め、残り前「0」	引落額を数字で記録します。
11	新規コード	N(1)	「0」、「1」、「2」	「0」…継続、「1」…第1回引落分 「2」…指定口座等の変更
12	顧客番号	N(20)	右詰め、残り前「0」	貴社が定めた顧客番号を記録します。

No.	項目名	桁数	記録要領	内容
13	振替結果コード	N(1)	「0」、「1」、「2」、「3」 「4」、「8」、「9」	「0」…振替済 「1」…資金不足 「2」…取引なし 「3」…預金者の都合による振替停止 「4」…預金口座振替依頼書なし 「8」…委託者の都合による振替停止 「9」…その他
14	ダミー	C(8)	スペース	ダミー・エリア(スペース)

(120)

③ トレーラ・レコード

No.	項目名	桁数	記録要領	内容
1	データ区分	N(1)	「8」	
2	合計件数	N(6)	右詰め、残り前「0」	(依頼明細の)合計件数を記録します。
3	合計金額	N(12)	右詰め、残り前「0」	(依頼明細の)合計金額を記録します。
4	振替済件数	N(6)	右詰め、残り前「0」	振替処理済件数を記録します。
5	振替済金額	N(12)	右詰め、残り前「0」	振替処理済金額を記録します。
6	振替不能件数	N(6)	右詰め、残り前「0」	振替処理不能件数を記録します。
7	振替不能金額	N(12)	右詰め、残り前「0」	振替処理不能金額を記録します。
8	ダミー	C(65)	スペース	ダミー・エリア(スペース)

(120)

④ エンド・レコード

No.	項目名	桁数	記録要領	内容
1	データ区分	N(1)	「9」	
2	ダミー	C(119)	スペース	ダミー・エリア(スペース)

(120)

資料－8 レコードで使用する文字・略語

各取引のレコードでご利用可能な使用文字及び法人記号等の略語について、ご確認ください。

(1) 使用文字

数字(10)	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
英字(26)	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
カナ文字(46)	アイウエオカキクケコサシスセソ タチツテトナニヌネノハヒフヘホ マミムメモヤユヨラリルレロワラン
濁点・半濁点(2)	ゝ 。
記号(9)	¥ , (カンマ) . (ピリオド) 「 」 () - (ハイフン) /

<注意>

- ① 小文字のカナ文字・英文字は使用しないでください。

正) ワカクサショウテン

誤) ワカクサショウテン

- ② 記号のうち、中黒点は使用しないでください。

正) エー・ビー・シー・ショウカイ

誤) エー・ビー・シー・ショウカイ

振込先によっては、中黒点のかわりに空欄(スペース)やピリオド(.)を用いている場合や中黒点を省略している場合があります。正確な口座情報は、振込先にご確認ください。

- ③ 読みがなに注意して、正確な口座名義を入力してください。

[間違いやすい例]

「日本」→「ニッポン」と読む場合や、「ニホン」と読む場合があります。

(2) 略語

- ① 使用方法

[例1] (株)山本商事

カ)ヤマモトショウジ

[例2] 山本商事(株)

ヤマモトショウジ(カ)

[例3] 山本商事(株) 東京営業所

ヤマモトショウジ(カ)トウキョウ(エイ)

② 略語一覧

法人略語		営業所略語	
株式会社	カ	営業所	エイ
有限会社	ユ	出張所	シュツ
合名会社	メ	事業略語	
合資会社	シ	連合会	リン
合同会社	ト	共済組合	キヨウサイ
相互会社	ソ	協同組合	キヨウキミ
医療法人	イ	生命保険	セイメイ
医療法人社団	イ	海上火災保険	カイジ ヨ
医療法人財団	イ	火災海上保険	カサイ
社会医療法人	イ	健康保険組合	ケンホ
財団法人	ザイ	国民健康保険組合	コクホ
一般財団法人	ザイ	国民健康保険団体連合会	コクホレン
公益財団法人	ザイ	社会保険診療報酬支払基金	シャホ
社団法人	シャ	厚生年金基金	コウネン
一般社団法人	シャ	従業員組合	ジ ユウキミ
公益社団法人	シャ	労働組合	ロウキミ
宗教法人	シュウ	生活協同組合	セイキヨウ
学校法人	ガク	食糧販売協同組合	シヨクハンキヨウ
社会福祉法人	フク	農業協同組合連合会	ノウキョウレン
更生保護法人	ホゴ	経済農業協同組合連合会	ケイザイレン
特定非営利活動法人	トクニ	共済農業協同組合連合会	キヨウサイレン
独立行政法人	トク	国家公務員共済組合連合会	コクキョウレン
中期目標管理法	モク	漁業協同組合	ギョキヨウ
国立研究開発法人	ケン	漁業協同組合連合会	ギョレン
行政執行法人	シツ	公共職業安定所	シヨクアン
地方独立行政法人	チトク	社会福祉協議会	シャキヨウ
有限責任中間法人	チウ	特別養護老人ホーム	トクヨウ
無限責任中間法人	チウ	有限責任事業組合	ユウキミ
弁護士法人	ベン		
行政書士法人	ギョ		
司法書士法人	シホ		
税理士法人	ゼイ		
国立大学法人	ダイ		
公立大学法人	ダイ		
農事組合法人	ノウ		
管理組合法人	カンリ		
社会保険労務士法人	ロム		

資料－9 照合データフォーマット【ファイル一括連携方式】

ファイル一括連携方式をご利用になられるお客さまについては、FAX承認に代わる照合データが必要になります。下記データフォーマットについて、ご確認ください。

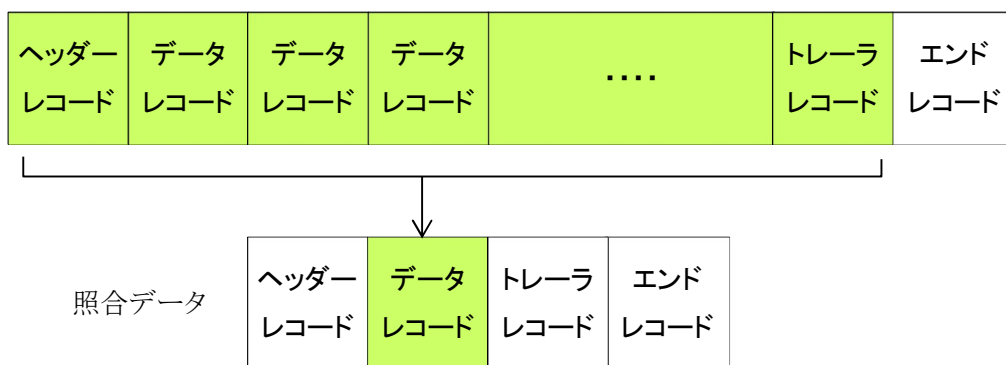
(1) 照合データフォーマット

① レコード構成

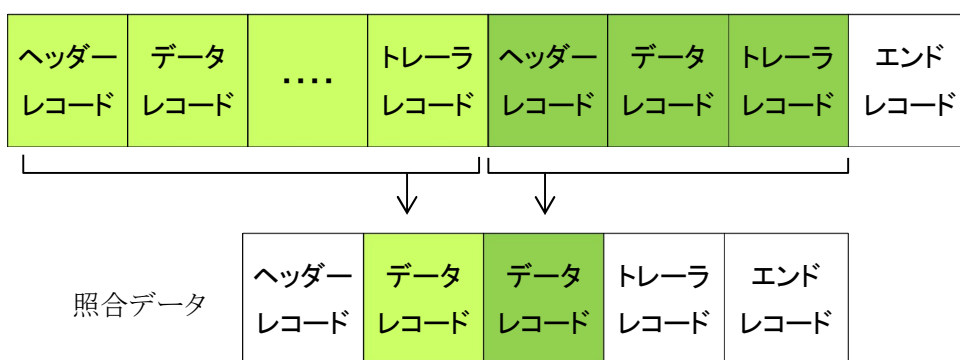
照合データ(取消)は、依頼データ1ファイルに対し、1ファイル作成してください。

また、対応する依頼データの1サブファイルに対し、照合データのデータ・レコードを1件作成してください。

a. 依頼データがシングルファイルの場合



b. 依頼データがマルチファイルの場合



注1 : 照合データのヘッダー・レコードに依頼データの「伝送日」「サイクル」を指定していただきます。依頼データ1ファイルに対し、照合データ1ファイルの前提があるため、照合データのマルチファイル形式は許容いたしておりません。

注2 : 照合データと依頼データの内容が、一致した場合に正常なデータと判断されます。1項目でも一致しなかった場合は照合エラーとなります。

② レコードフォーマット

a. ヘッダー・レコード

No.	項目名	桁数	記録要領	内容
1	データ区分	N(1)	「1」	「1」ヘッダー・レコード
2	種別コード	N(2)	「91」「21」「11」「12」	預金口座振替:91 総合振込:21 給与振込:11 賞与振込:12
3	伝送日	N(8)	YYYYMMDD	依頼データ伝送日を表す。 ・YYYY(西暦年)MM(月)DD(日)
4	伝送サイクルコード	N(2)	右詰め、残り前「0」	依頼データ伝送時のサイクルコード を表す。
5	照合識別コード	C(6)		照合者が正当であるかどうかを確認 するためのコードを表す。
6	取消実施区分	C(1)	スペース、「1」	取消実施有無を設定する。 ・「スペース」:照合実施 ・「1」:取消実施
7	ダミー	C(100) (120)	スペース	ダミー・エリア(スペース)

b. データ・レコード

No.	項目名	桁数	記録要領	内容
1	データ区分	N(1)	「2」	「2」データ・レコード
2	引落日	N(4)	MMDD	依頼データの振込・振替日を表す。 ・MM(月)DD(日)
3	会社コード(委託者 コード)	N(10)	右詰め、残り前「0」	当行で定めた貴社の特定コードを設 定する。
4	合計件数	N(6)	右詰め、残り前「0」	依頼データの合計件数を表す。
5	合計金額	N(12)	右詰め、残り前「0」	依頼データの合計金額を表す。
6	ダミー	C(87) (120)	スペース	ダミー・エリア(スペース)

c. トレーラ・レコード

No.	項目名	桁数	記録要領	内容
1	データ区分	N(1)	「8」	「8」トレーラ・レコード
2	ダミー	C(119) (120)	スペース	ダミー・エリア(スペース)

d. エンド・レコード

No.	項目名	桁数	記録要領	内容
1	データ区分	N(1)	「9」	「9」エンド・レコード
2	ダミー	C(119) (120)	スペース	ダミー・エリア(スペース)

(2) 受付状況照会データフォーマット

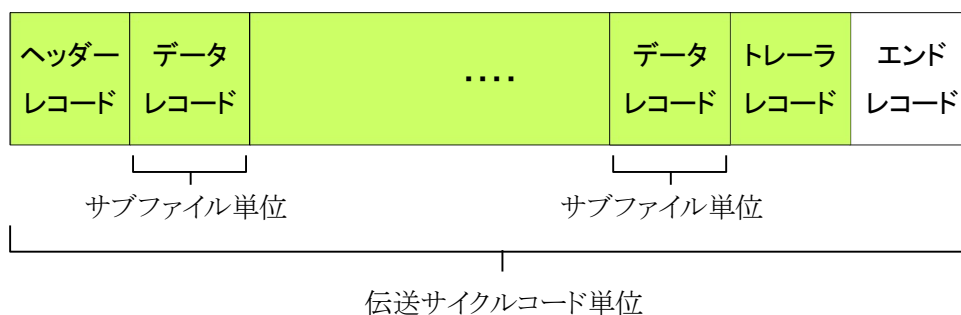
依頼データの照合状況（照合済であるか、未照合であるか等）を確認するために、受付状況照会データを取得可能です。未照合の状態のまま、照合期限が到来することを未然に防ぐためにご活用ください。詳細は以下の通りです。

① レコード構成

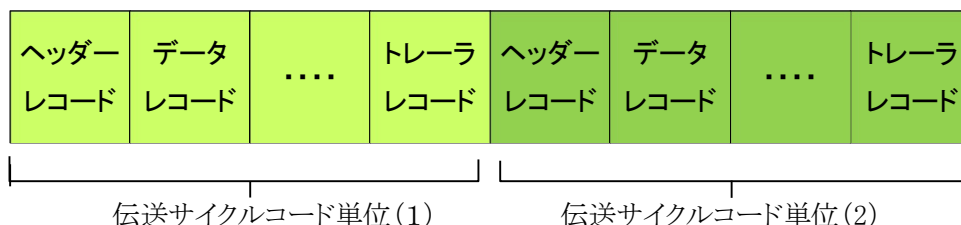
照会データとして当行（AnserDATAPORT センター）から下記のファイルを配信いたします。

a. シングル・サブファイル構成

ヘッダー・レコードは「依頼データの伝送日時+依頼データの伝送サイクルコード」単位に作成、データ・レコードは伝送サイクルコード内のサブファイル単位に作成します。



b. マルチ・サブファイル構成



c. ダミー(0件)データ構成

ヘッダー レコード	トレーラ レコード	エンド レコード
--------------	--------------	-------------

② レコードフォーマット

a. ヘッダー・レコード

No.	項目名	桁数	記録要領	内容
1	データ区分	N(1)	「1」	「1」ヘッダー・レコード
2	金融機関コード	N(4)	「0009」(三井住友銀行)	金融機関コードを表す。
3	加入者コード	C(14)		当行が定める貴社加入者コードを表す。お申込時当行より通知。
4	ファイル名	C(12)	「5020XXXX0000」	照会対象業務のファイル名を表す。
5	依頼データ伝送日時	N(12)	YYYYMMDDHHMM	照会対象の依頼データの伝送日時を表す。 ・YYYY(西暦年)MM(月)DD(日) HH(時)MM(分)
6	依頼データ伝送サイクルコード	N(2)		照会対象の依頼データの伝送サイクルコードを表す。
7	照会日時	N(12)	YYYYMMDDHHMM	受付状況の照会日時を表す。 ・YYYY(西暦年)MM(月)DD(日) HH(時)MM(分)
8	照会回数	N(2)		照会日付単位に照会回数を表す。
9	相手センタ確認コード	C(14)		相手(銀行側)センタ確認コードを表す。
10	当方センタ確認コード	C(14)		当方(お客さま側)センタ確認コードを表す。(申込書記入の企業コード)
11	受付状態※	C(1)	「0」「1」「2」「3」「9」	照会対象の依頼データの受付状態を表す。 ・「0」(未照合) ・「1」(照合済) ・「2」(照合不要) ・「3」(取消済) ・「9」(照合時限切れ)
12	照合時限日時※	N(12)	YYYYMMDDHHMM	・受付状態が「0」(未照合)または「9」(照合時限切れ)の場合、当該伝送サイクルコードにおける依頼データの照合時限日時を表す。 ・受付状態が「1」(照合済)の場合、照合日時を表す。 ・受付状態が「3」(取消済)の場合、取消日時を表す。 ・YYYY(西暦年)MM(月)DD(日) HH(時)MM(分)
13	ダミー	C(20)	スペース	ダミー・エリア(スペース)

(120)

※依頼データの伝送サイクルコード単位の状態を表す情報。

※加入者契約情報の照合データの利用可否を変更(「利用しない」から「利用する」、または「利用する」から「利用しない」)した場合は、変更前に集信した依頼データの受付状態が設定されます。

※受付状態が「0」(未照合)または「9」(照合時限切れ)の場合、サブファイル内で最も早い照合期限日時を表示する。受付状態が「2」(照合不要)の場合は、オール0を設定します。

※テストでは受付状態「0」、「1」、「2」、「3」、「9」の5パターンがセットされたデータが返却されます。

b. データ・レコード

No.	項目名	桁数	記録要領	内容
1	データ区分	N(1)	「2」	「2」データ・レコード
2	サブファイル通番	N(5)		依頼データの引落日を表す。 ・MM(月)DD(日)
3	会社コード(委託者コード)	C(12)	会社コード(10 桁) + スペース(2 桁)	当行であらかじめ指定の会社コードを設定。
4	引落指定日、取組日、振込指定日	N(4)	MMDD	照会対象の依頼データに設定されている引落指定日等を表す。 ・MM(月)DD(日)
5	合計件数	N(6)	右詰め、残り前「0」	照会対象の依頼データに設定されている合計件数を表す。
6	合計金額	N(12)	右詰め、残り前「0」	照会対象の依頼データに設定されている合計金額を表す。
7	受付状態※	C(1)	「0」「1」「2」「3」「9」	照会対象の依頼データの受付状態を表す。 ・照合を行う加入者センタの場合 「0」(未照合) 「1」(照合済) 「3」(取消済) 「9」(照合時限切れ) ・照合を行わない加入者センタの場合 「2」(照合不要)
8	照合時限日時※	N(12)	YYYYMMDDHHMM	・直近のヘッダー・レコードの受付状態が「0」(未照合)または「9」(照合時限切れ)の場合、サブファイル単位の照合時限日時を表す。 ・受付状態が「1」(照合済)の場合、照合日時を表す。 ・受付状態が「3」(取消済)の場合、取消日時を表す。 ・YYYY(西暦年)MM(月)DD(日) HH(時)MM(分)
9	ダミー	C(67) (120)	スペース	ダミー・エリア(スペース)

※依頼データの伝送サイクルコード単位の状態を表す情報。

※加入者契約情報の照合データの利用可否を変更(「利用しない」から「利用する」、または「利用する」から「利用しない」)した場合は、変更前に集信した依頼データの受付状態が設定されます。

※受付状態が「2」(照合不要)の場合は、照合時限日時オールに 0 を設定します。

※テストでは受付状態「0」、「1」、「2」、「3」、「9」の 5 パターンがセットされたデータが返却されます。

c. トレーラ・レコード

No.	項目名	桁数	記録要領	内容
1	データ区分	N(1)	「8」	「8」トレーラ・レコード
2	データ・レコード件数	N(5)	右詰め、残り前「0」	データ・レコードの件数を表す。
3	ダミー	C(114)	スペース	ダミー・エリア(スペース)

(120)

d. エンド・レコード

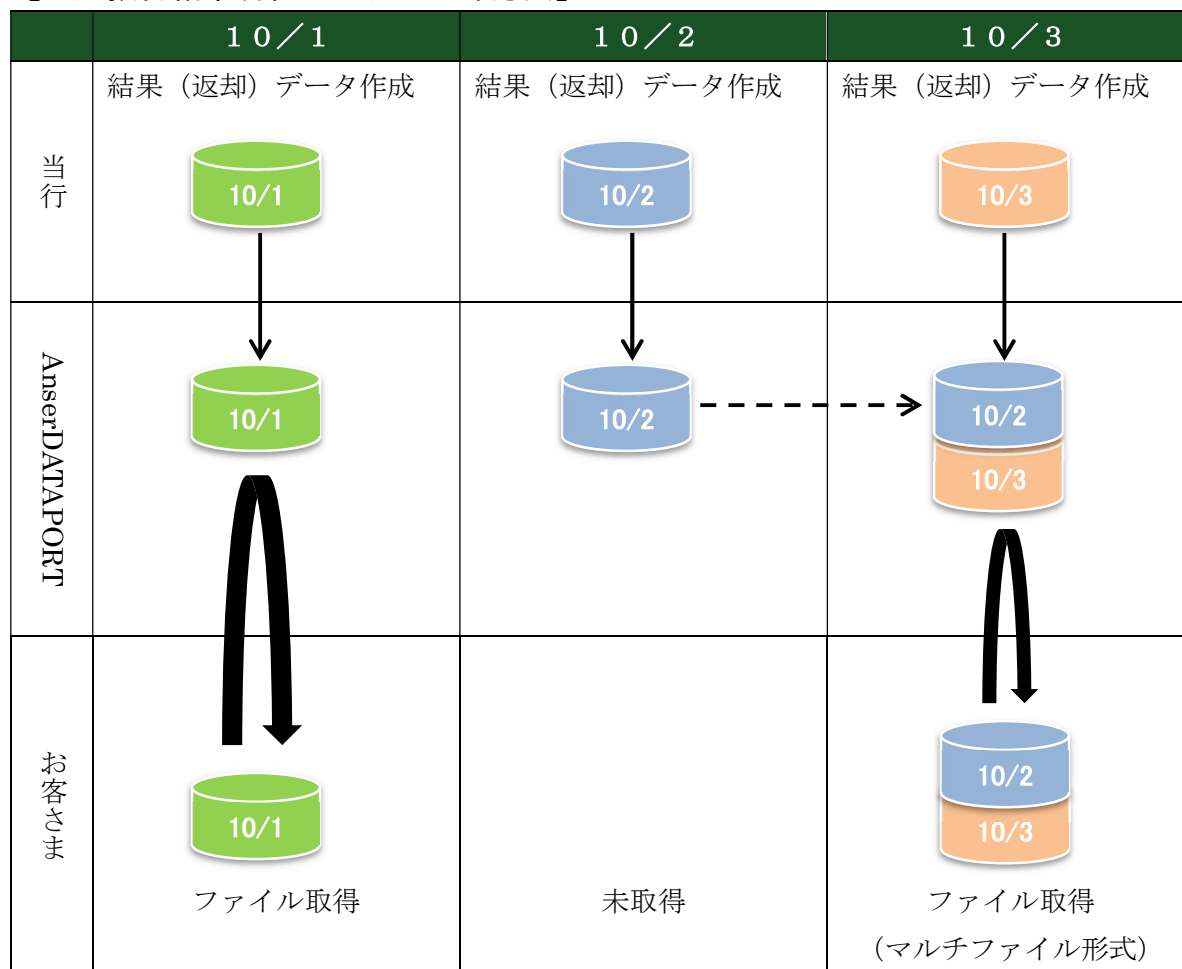
No.	項目名	桁数	記録要領	内容
1	データ区分	N(1)	「9」	「9」エンド・レコード
2	ダミー	C(119)	スペース	ダミー・エリア(スペース)

(120)

資料－10 口座振替結果データ返却【ファイル一括連携方式】

ファイル一括連携方式において、当行からの口座振替結果明細データはファイル作成単位にAnserDATAPORTセンターに送信し、センター側で保持されます。この際に、お客さまセンター確認コード単位に未取得のファイルが存在する場合には、マルチファイル形式に結合しお客さまの送信要求を契機に返却いたします。

【口座振替結果明細データの返却方法】



注：ファイル一括連携方式では、お客さまからの依頼データがシングル、マルチファイル形式に関わらず、結果返却時にはセンター確認コード単位に未送信分すべてをマルチファイル形式にて返却いたします。

ファイル一括連携方式の口座振替結果テスト明細データは、当行固定の雛形データを使用します。お客さまの依頼データとは異なります。当行からの返却データに設定する情報です。

預金口座振替（テスト結果明細）

① ヘッダー・レコード

No.	項目名	桁数	記録要領	内容
1	データ区分	N(1)	「1」	
2	種別コード	N(2)	「91」	91…預金口座振替
3	コード区分	N(1)	「0」	
4	委託者コード	N(10)	「0123456789」	
5	貴社名	C(40)	「テスト コウブリケツカ」	
6	引落日	N(4)	「0517」	
7	取引銀行番号	N(4)	「0009」	当行の金融機関コードは「0009」です。
8	* 取引銀行名	C(15)	「ミツイスミモ」	
9	取引支店番号	N(3)	200	
10	* 取引支店名	C(15)	「ホンテン」	
11	預金種目	N(1)	「1」	
12	口座番号	N(7)	「1234567」	
13	ダミー	C(17)	スペース	ダミー・エリア(スペース)

(120)

② データ・レコード

No.	項目名	桁数	記録要領	内容
1	データ区分	N(1)	「2」	
2	引落銀行番号	N(4)	「0009」	引落先の指定された金融機関の金融機関コードを記録します。
3	* 引落銀行名	C(15)	「ミツイスミモ」	引落先の金融機関名を記録します。
4	引落支店番号	N(3)	200	引落先金融機関の支店番号を記録します。
5	* 引落支店名	C(15)	「ホンテン」	引落先金融機関の店舗名を記録します。
6	ダミー	N(4)		
7	預金種目	N(1)	「1」	引落先の指定された預金種目および口座番号を数字で記録します。 1…普通預金 2…当座 3…納税準備預金 9…その他
8	口座番号	N(7)	「999000X」	
9	預金者名	C(30)	「デンソウテスト X」	預金者名をカナ文字で記録します。
10	引落金額	N(10)	「0000000001」	引落額を数字で記録します。
11	新規コード	N(1)	「0」	「0」…継続、「1」…第1回引落分 「2」…指定口座等の変更

No.	項目名	桁数	記録要領	内容
12	顧客番号	N(20)	「00000000000000000000X」	
13	振替結果コード	N(1)	「0」、「1」、「2」、「3」 「4」、「8」、「9」	
14	ダミー	C(8)	スペース	ダミー・エリア(スペース)

(120)

③ トレーラ・レコード

No.	項目名	桁数	記録要領	内容
1	データ区分	N(1)	「8」	
2	合計件数	N(6)	「000007」	
3	合計金額	N(12)	「000000000007」	
4	振替済件数	N(6)	「000001」	
5	振替済金額	N(12)	「000000000001」	
6	振替不能件数	N(6)	「000006」	
7	振替不能金額	N(12)	「000000000006」	
8	ダミー	C(65)	スペース	ダミー・エリア(スペース)

(120)

④ エンド・レコード

No.	項目名	桁数	記録要領	内容
1	データ区分	N(1)	「9」	
2	ダミー	C(119)	スペース	ダミー・エリア(スペース)

(120)

資料－11 取引情報サービステスト返却データの設定内容

取引情報サービステストにおいて、当行からの各返却データに設定する情報です。

(1) 預金残高照会結果（テスト返却データ）

① ヘッダー・レコード

No.	項目名	桁数	項目値	備考
1	データ区分	N(1)	1	1:ヘッダー・レコード
2	種別コード	N(2)	04	04:残高通知
3	通知区分	N(1)	1	1:預金
4	コード区分	N(1)	0:JIS 1:EBCDIC	
5	作成日	N(6)	処理日	和暦:YYMMDD
6	会社コード	N(10)	企業コードの 1～10 桁目	右詰め残り前「0」
7	会社名	X(40)	ツウシンテスト	左詰め、残りスペース
8	銀行コード	N(4)	0009	金融機関コード
9	銀行名	X(15)	ミツイシモ	左詰め、残りスペース
10	支店コード	N(3)	397	利用口座の店番号
11	支店名	X(15)	コウシュウ	左詰め、残りスペース
12	ダミー	X(102)	スペース	ダミーエリア

(200)

② データ・レコード

No.	項目名	桁数	項目値	備考
1	データ区分	N(1)	2	2:データ・レコード
2	基準日	N(6)	前営業日	和暦:YYMMDD
3	* 基準時刻	N(4)	スペース	HHMM
4	支店コード	N(3)	397	利用口座の店番号
5	ダミー	N(3)	ゼロ	機能拡張用の予備
6	預金種目	N(1)	1	1:普通 2:当座 3:納準 4:貯蓄 5:通知 6:定期 7:積立定期預金 8:定期積立 9:ほか
7	口座番号	N(10)	0001234567	右詰め、残り前 0
8	* 口数	N(4)	スペース	流動はスペース(固定は右詰め、残り前 0)
9	口座名	X(40)	ツウシンテスト	左詰め、残りスペース
10-1	現在残高(貸越区分)	N(1)	1	1:プラス
10-2	現在残高(残高)	N(14)	00000001000000	右詰め、残り前 0
11	他店券残高	N(14)	00000000000000	右詰め、残り前 0

No.	項目名	桁数	項目値	備考
12	貸越極度額	N(14)	00000000000000	右詰め、残り前 0
13-1	* 支払可能残高(貸越区分)	N(1)	1	1:プラス
13-2	* 支払可能残高(残高)	N(14)	00000001000000	右詰め、残り前 0
14-1	* 前日残高	N(1)	スペース	1:プラス
14-2	* 前日残高(残高)	N(14)	スペース	右詰め、残り前 0
15	* 最新取引日	N(6)	前営業日	和暦:YYMMDD
16	ダミー	X(49)	スペース	ダミーエリア

(200)

* 任意項目

③ トレーラ・レコード

No.	項目名	桁数	項目値	備考
1	データ区分	N(1)	8	8:トレーラ・レコード
2	データ・レコード総件数	N(7)	0000001	データ・レコードの総件数、右詰め、残り前 0
3	ダミー	X(192)	スペース	ダミーエリア

(200)

④ エンド・レコード

No.	項目名	桁数	項目値	備考
1	データ区分	N(1)	9	9:エンド・レコード
2	データ・レコード総件数	N(10)	0000000004	データ・レコードの総件数、右詰め、残り前 0
3	ダミー	X(189)	スペース	ダミーエリア

(200)

(2) 振込入金明細照会結果 (テスト返却データ)

① ヘッダー・レコード

No.	項目名	桁数	項目値	備考
1	データ区分	N(1)	1	1:ヘッダー・レコード
2	種別コード	N(2)	01	01:振込入金通知
3	コード区分	N(1)	0:JIS 1:EBCDIC	
4	作成日	N(6)	処理基準日	和暦:YYMMDD
5	勘定日(自)	N(6)	前営業日	和暦:YYMMDD
6	勘定日(至)	N(6)	処理基準日	和暦:YYMMDD
7	銀行コード	N(4)	0009	金融機関コード
8	銀行名	X(15)	ミツイストモ	左詰め、残りスペース
9	支店コード	N(3)	397	利用口座の店番号

No.	項目名	桁数	項目値	備考
10	支店名	X(15)	コウシュウ	左詰め、残リスペース
11	預金種目	N(1)	1	1:普通 2:当座 4:貯蓄
12	口座番号	N(7)	0123456	利用口座の店番号
13	口座名	X(40)	ツウシンテスト	左詰め、残リスペース
14	ダミー	X(93)	スペース	ダミーエリア

(200)

② データ・レコード

No.	項目名	桁数	項目値	備考
1	データ区分	N(1)	2	2:データ・レコード
2	* 照会番号	N(6)	100001	右詰め、残リ前 0
3	勘定日	N(6)	前営業日	和暦:YYMMDD
4	起算日	N(6)	前営業日	和暦:YYMMDD
5	金額	N(10)	0000001000	右詰め、残リ前 0
6	うち他店券金額	N(10)	0000000000	右詰め、残リ前 0
7	* 振込依頼人コード	N(10)	スペース	右詰め、残リ前 0
8	振込依頼人名	X(48)	ツウシンテスト	左詰め、残リスペース
9	* 仕向銀行名	X(15)	スペース	左詰め、残リスペース
10	* 仕向店名	X(15)	スペース	左詰め、残リスペース
11	* 取消区分	N(1)	スペース	1:取消
12	* EDI情報	X(20)	スペース	左詰め、残リスペース
16	ダミー	X(52)	スペース	ダミーエリア

(200)

* 任意項目

③ トレーラ・レコード

No.	項目名	桁数	項目値	備考
1	データ区分	N(1)	8	8:トレーラ・レコード
2	振込合計件数	N(6)	000001	右詰め、残リ前 0
3	振込合計金額	N(12)	000000001000	右詰め、残リ前 0
4	* 取消合計件数	N(6)	000000	右詰め、残リ前 0
5	* 取消合計金額	N(12)	000000000000	右詰め、残リ前 0
6	ダミー	X(163)	スペース	ダミーエリア

(200)

* 任意項目

④ エンド・レコード

No.	項目名	桁数	項目値	備考
1	データ区分	N(1)	9	9:エンド・レコード
2	ダミー	X(199)	スペース	ダミーエリア

(200)

(3) 入出金明細照会結果 (テスト返却データ)

① ヘッダー・レコード

No.	項目名	桁数	項目値	備考
1	データ区分	N(1)	1	1:ヘッダー・レコード
2	種別コード	N(2)	03	03:入出金取引明細
3	コード区分	N(1)	0:JIS 1:EBCDIC	
4	作成日	N(6)	処理基準日	和暦:YYMMDD
5	勘定日(自)	N(6)	前営業日	和暦:YYMMDD
6	勘定日(至)	N(6)	処理基準日	和暦:YYMMDD
7	銀行コード	N(4)	0009	金融機関コード
8	銀行名	X(15)	ミツイストモ	左詰め、残りスペース
9	支店コード	N(3)	397	利用口座の店番号
10	支店名	X(15)	コウシュウ	左詰め、残りスペース
11	ダミー	N(3)	ゼロ	機能拡張用の予備
12	預金種目	N(1)	1	1:普通 2:当座 3:納準 4:貯蓄 5:通知 6:定期 7:積立定期預金 8:定期積立
13	口座番号	N(10)	0000123456	右詰め、残り前 0
14	口座名	X(40)	ツウシテスト	左詰め、残りスペース
15	* 貸越区分	N(1)	1	1:プラス
16	* 通帳・証書区分	N(1)	1	1:通帳
17	* 取引前残高	N(14)	00000000999000	右詰め、残り前 0
18	ダミー	X(71)	スペース	ダミーエリア

(200)

* 任意項目

② データ・レコード

No.	項目名	桁数	項目値	備考
1	データ区分	N(1)	2	2:データ・レコード
2	* 照会番号	N(8)	10000001	右詰め、残り前 0
3	勘定日	N(6)	前営業日	和暦:YYMMDD
4	預入・払出日	N(6)	前営業日	和暦:YYMMDD
5	入払区分	N(1)	1	1:入金 2:出金
6	* 取引区分	N(2)	11	10:現金 11:振込 12:他店券入金 13:交換(取立入金および交換払) 14:振替 18:その他 19:訂正
7	取引金額	N(12)	000000001000	右詰め、残り前 0
8	うち他店券金額	N(12)	000000000000	右詰め、残り前 0

No.	項目名	桁数	項目値	備考
9	* 交換呈示日	N(6)	スペース	和暦:YYMMDD
10	* 不渡返還日	N(6)	スペース	和暦:YYMMDD
11	* 手形・小切手区分	N(1)	スペース	1:小切手 2:約束手形 3:為替手形
12	* 手形・小切手番号	N(7)	スペース	右詰め、残り前 0
13	* 僚店番号	N(3)	スペース	取引のあった店番号
14	* 振込依頼人コード	N(10)	スペース	右詰め、残り前 0
15	* 振込依頼人名または契約者番号	X(48)	ツウシテスト	・入払区分:1(入金) 振込依頼人名左詰め、 残りスペース ・入払区分:2(出金) 契約者番号左 20 桁、 残りスペース
16	* 仕向銀行名	X(15)	スペース	左詰め、残りスペース
17	* 仕向店名	X(15)	スペース	左詰め、残りスペース
18	* 摘要内容	X(20)	フリコミ	左詰め、残りスペース
19	* EDI 情報	X(20)	スペース	左詰め、残りスペース
20	ダミー	X(1)	スペース	ダミーエリア

(200)

* 任意項目

③ トレーラ・レコード

No.	項目名	桁数	項目値	備考
1	データ区分	N(1)	8	8:トレーラ・レコード
2	入金件数	N(6)	000001	右詰め、残り前 0
3	入金額合計	N(13)	0000000001000	右詰め、残り前 0
4	出金件数	N(6)	000000	右詰め、残り前 0
5	出金額合計	N(13)	0000000000000	右詰め、残り前 0
6	貸越区分	N(1)	1	1:プラス 2:マイナス
7	* 取引後残高	N(14)	00000001000000	右詰め、残り前 0
8	データ・レコード件数	N(7)	0000001	データ・レコードの総件数。 右詰め、残り前 0
9	ダミー	X(139)	スペース	ダミーエリア

(200)

* 任意項目

④ エンド・レコード

No.	項目名	桁数	項目値	備考
1	データ区分	N(1)	9	9:エンド・レコード
2	レコード総件数	N(10)	0000000004	レコードの総件数、右詰め、 残り前 0
3	口座数	N(5)	00001	右詰め、残り前 0
4	ダミー	X(184)	スペース	ダミーエリア

(200)

資料－12 公衆回線・ISDN 回線接続との各種差分

AnserDATAPORT接続とISDN回線接続の機能等に関する差分は以下の通りとなります。

項番	項目	公衆回線・ISDN 回線 接続	AnserDATAPORT 接続	備考
1	【データ伝送】 サービス提供時間(システム稼働時間)	・平日・・・8:45～19:00	【ファイル一括連携方式】 ・平日・・・8:45～19:00 【リアルタイム連携方式】 ・平日・・・8:45～19:00	
2	【取引情報サービス】 サービス提供時間(システム稼働時間)	・平日・・・8:45～19:00 ・土(12/31 含む)・・・9:00～17:00 ※土曜日が祝日の場合・12/31 が日曜日の場合はご利用いただけません。 ※別途お申しいただくことで、24 時間の利用が可能となります。ただしシステムメンテナンス時間(毎週日曜日 19:00～翌月曜日 8:00、年末年始(12 月 31 日 23:45～1 月 4 日 8:00)、GW(5 月 2 日 23:45～5 月 6 日 8:00)他)はご利用いただけません。	・平日・・・8:45～19:00 ・土(12/31 含む)・・・9:00～17:00 ※土曜日が祝日の場合・12/31 が日曜日の場合はご利用いただけません。 ※別途 24 時間利用のお申込をいただいている場合、7:00～23:55 での利用が可能となります。ただしシステムメンテナンス時間(毎週日曜日 19:00～翌月曜日 8:00、年末年始(12 月 31 日 23:45～1 月 4 日 8:00)、GW(5 月 2 日 23:45～5 月 6 日 8:00)他)はご利用いただけません。	AnserDATAPORT センターの稼働時間の関係で、別途 24 時間利用のお申込みをいただいていた方もシステムメンテナンス時間に加えて夜間 23:55～7:00 のご利用ができなくなります。
3	【加入者テスト】 サービス提供時間(システム稼働時間)	・平日・・・9:00～19:00	【ファイル一括連携方式】 ・平日・・・9:00～19:00 【リアルタイム連携方式】 ・平日・・・9:00～19:00	外貨関係取引は現行と変わらず 18:00 までのお取扱いになります。
4	通信方式	－	ファイル一括連携方式、リアルタイム連携方式の2方式から選択頂くことが可能。 各方式の詳細は「2. システム概要」(→P.6) 参照	ファイル一括連携方式の場合、サービスメニューが限定されます。(→P.11 参照)
5	センター確認コードの設定	相手方(当行)センター確認コード ・00000000090001 本番 東日本 ・00000000090011 本番 西日本 ・00090000000000 テスト用	相手方(当行)センター確認コード ・00000000090001 本番 東日本 ・00000000090011 本番 西日本 ・00090000000000 テスト用 東日本 ・00090000000001 テスト用 西日本	テスト用も東日本、西日本で設定が異なります。
6	FAX 承認	FAX 送付要	【ファイル一括連携方式】 ・照合ファイル方式により FAX 送付省略可能 【リアルタイム連携方式】 ・FAX 送付要	

項番	項目	公衆回線・ISDN 回線接続	AnserDATAPORT 接続	備考
7	伝送エラー時の返信内容	エラー内容に対応したエラーコード(*1)を返信。 (*1) 正常(00)、電文区分エラー(10)、相手センター確認コードエラー(11)、当方センター確認コードエラー(12)、サービス時間帯エラー(13) 等	【ファイル一括連携方式】 ・エラー内容によらず、一律同じエラーコード (99)を顧客宛返信。エラー理由*に関しては法人 e ビジネスセンターまで確認頂きます。 【リアルタイム連携方式】 ・現行方式から変更なし。	全業務時間外の場合はサービス時間帯エラー(13)を返信します。
8	伝送テスト時の振込指定日	加入者テストを実施する際の振込指定日は「過去日付(※)」を設定する。 未来日付が設定されていた場合はエラー。 ※集信テスト実施日の前営業日から20営業日前を受付日とした振込指定日チェックとなる。	【ファイル一括連携方式】 ・振込指定日は過去日付の他に未来日付も指定可能。 【リアルタイム連携方式】 ・現行方式から変更なし。	
9	伝送テスト時の口座振替結果照会データ	口座振替結果返却は、お客さまが作成した口座振替請求データに対し、疑似結果を設定したものを返却する。	【ファイル一括連携方式】 ・口座振替結果は当行固定のひな型データを使用。お客さまの依頼データとは異なります。 【リアルタイム連携方式】 ・現行方式から変更なし。	